長崎県埋蔵文化財センター調査報告書　第48集

長崎県埋蔵文化財調査年報31

［令和4年度調査分］

２０２３

長崎県教育委員会

はじめに

長崎県には先人たちの残した3,800か所を超える遺跡（埋蔵文化財）があります。こうした埋蔵文化財は地域の歴史を物語り、地域づくりや人づくりに活用できる国民共有の財産です。私たちはこれら先人から受け継いだ貴重な文化財を適切に保存・活用し、後世の人々に伝えていく責務があります。

長崎県教育委員会では、国・県の公共事業に伴う開発が行われる際には事前に予備調査及び開発部局との協議を行って埋蔵文化財の保護を図り、その結果やむを得ず保護できない場合においては記録保存のための発掘調査を実施しています。

令和4年度は早岐川河川改修工事に伴う本調査や島原道路建設に伴う本調査及び試掘確認調査を行いました。また、今後進みつつある海洋開発に備えるための水中遺跡分布調査や、国境に接する離島地域（壱岐・対馬・五島地域）の遺跡の魅力を再発見することを目的とした内容確認調査を実施しています。

本書は、令和4年度に長崎県教育委員会が行った全ての発掘調査の概要や調査研究、遺物の保存処理、展示、普及啓発などの事業概要について掲載しております。本書が県民の皆様の地域の歴史や文化への理解の一助になれば幸いです。

令和5年11月

長崎県教育委員会

例　言

1　本書は長崎県における埋蔵文化財保護行政の現状と長崎県教育委員会が令和４年度に実施した発掘調査の概要を収録したものである。

2　調査遺跡名の【　】内は長崎県教育委員会独自の遺跡調査番号である。

3　調査概要の調査地位置図等は長崎県教育庁学芸文化課のウェブコンテンツ『長崎県遺跡地図』を使用している。

4　Ⅳについては各遺跡の調査担当者と調査概要の執筆者を文末に記している。

5　本書の編集は長崎県埋蔵文化財センターが行った。

本文目次

Ⅰ．長崎県の埋蔵文化財保護行政の現状・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
　1．県が実施した発掘調査の現状 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
　2．市町が実施した発掘調査の現状 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
Ⅱ．本県が主催する文化財保護に関係する研修事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
　1．長崎県文化財保護行政主管課長会議・担当者会議 ・・・・・・・・・・・・・・・ 5
　2．開発部局・文化財保護部局担当者埋蔵文化財基礎研修 ・・・・・・・・・・・・・ 5
　3．埋蔵文化財担当者専門技術研修 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
Ⅲ．長崎県埋蔵文化財センターの事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
　1．東アジア考古学研究事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
　　（1）発掘調査事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
　　（2）巡回遺跡展・講演会の開催 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
　　（3）東アジア諸国の研究機関との連携・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
　　（4）長崎県埋蔵文化財センター研究紀要第13号の刊行・・・・・・・・・・・・・ 8
　2．保存処理事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
　3．水中文化遺産保存活用推進事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
　　（1）概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
　　（2）県内水中遺跡の分布調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
　　（3）水中考古学体験講座 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
　4．教育普及事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
　　（1）オープン収蔵展示 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
　　（2）情報誌 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
　　（3）ホームページおよびFacebookの公開更新・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

（4）体験学習 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
（5）バックヤードツアー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
（6）資料貸出・閲覧・掲載許可 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
（7）長崎県立壱岐高等学校「東アジア歴史・中国語コース」支援 ・・・・・・・・・・・・ 14
（8）長崎県内の離島地域における高校生を中心とした授業支援 ・・・・・・・・・・・・・ 16
（9）学校教育支援「埋文ＭＡＩＢＵＮ学びのサポート」・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
（１０）現地説明会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
（１１）移動展示会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

Ⅳ．令和４年度長崎県教育委員会による埋蔵文化財発掘調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・ 20
１．島原城跡（範囲確認）【202201】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
２．水中遺跡分布調査【202202】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
３．石屋洞穴（本調査）【202203】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
４．大念寺遺跡（隣接地）（試掘調査）【202205】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
５．早岐瀬戸遺跡（本調査）【202206】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
６．寺中Ａ遺跡（本調査）【202210】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
７．下雨粒木遺跡・楠沢上遺跡（本調査）【202207・202208】・・・・・・・・・・・・・・・ 26
８．西ノ股遺跡（範囲確認）【202212】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
９．ヌルヘノクチ遺跡（試掘調査）【202214】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
１０．閨繰遺跡（範囲確認）【202216】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
１１．上原遺跡（隣接地）（試掘調査）【202219】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
１２．杉山古墳（隣接地）・楠沢上遺跡（隣接地）・上岡遺跡・大円寺遺跡（仮）・北ノ園遺跡・
苗河内遺跡（仮）・坊屋敷石棺（隣接地）・岡城（夏峰城）跡・灰ノ久保遺跡（試掘・範囲確認）
【202204・202209・202211・202213・202215・202217・202218・202220・202221】・・・・ 32

（報告書抄録）

Ⅰ．長崎県の埋蔵文化財保護行政の現状

1．県が実施した発掘調査の現状

令和4年度における開発に伴う発掘調査では、4件の本調査と12件の範囲確認調査及び試掘調査を実施した。

佐世保市石屋洞穴では昨年度に引き続き西九州自動車道建設に伴う本調査を実施した。新たに3つの遺構面を確認し計7面を数えた。縄文時代早期を主体とした洞穴遺跡で、洞穴内の面積の狭さや石器石材の在地性等から、拠点遺跡ではなくキャンプサイト的な位置付けがなされている。

6か年計画中の4年目となる佐世保市早岐瀬戸遺跡の調査では、江戸時代の埋桶を24基検出したほか道路跡を検出した。道路跡は幅3m・確認長45mを測り石組の側溝を有する。路面は玉砂利を敷き硬化しており、17世紀末から18世紀初頭の遺物が出土している。また、近世造成層の下に堆積する砂層から縄文時代後期～弥生時代の土器や磨製石斧・石鏃などの石器が出土した。

島原半島では、島原道路（出平有明バイパス）建設に伴い島原市内の3遺跡（寺中A遺跡・下雨粒木遺跡・楠沢上遺跡）の本調査を実施した。寺中A遺跡では、中世のものを含む土坑4基と縄文時代の落とし穴状遺構1基を検出した。遺物では縄文時代早期･晩期の土器が出土している。下雨粒木遺跡･楠沢上遺跡では、旧石器時代の石器製作跡と考えられる石器集中地点を3か所検出した。また、縄文時代の落とし穴状遺構や縄文時代早期及び後・晩期の土器等が出土した。島原市域における旧石器時代の遺物包含層及び石器製作跡の発見は初出となる。

上記の内容を含め、県が令和4年度に実施した国・県の公共事業に伴う調査は以下のとおりである。

【国事業】

・一般国道497号西九州自動車道埋蔵文化財発掘調査（石屋洞穴）

【県事業】

・早岐川河川改修工事に伴う埋蔵文化財発掘調査（早岐瀬戸遺跡）
・早岐川河川改修工事に伴う埋蔵文化財試掘調査（大念寺遺跡（隣接地））
・島原高校エレベーター棟増築工事に伴う埋蔵文化財範囲確認調査（島原城跡）
・島原道路（出平有明バイパス）建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査（寺中A遺跡、他）
・島原道路（出平有明バイパス）建設工事に伴う埋蔵文化財範囲確認調査及び試掘調査（灰ノ久保遺跡、他）
・島原道路（瑞穂吾妻バイパス）建設工事に伴う埋蔵文化財範囲確認調査及び試掘調査（北ノ園遺跡、他）

2．市町が実施した発掘調査の現状

令和4年度は県内市町によって、第99条による発掘調査が57件実施された。その内、本調査は16件が行われており、ほとんどが公共事業に伴うものとなっている。島原半島では引き続き農業基盤整備に伴う試掘・範囲確認調査や本発掘調査が多く行われている。また、大村市や佐世保市では宅地造成等住宅関係に伴う試掘・範囲確認調査が多く、特に大村市では郊外での宅地造成への対応が多く行われている。

南島原市では自転車道整備に係る本調査が4件行われており、町村遺跡では調査区幅1.5m、調査面積230㎡の調査ながら、弥生時代の甕棺墓3基、石蓋木棺墓1基、土壙墓13基が検出された。調査地は町村遺跡の南側縁辺部にあたるが、計17基と多数の墓が見つかったことから周辺は墓域として利用されていた可能性が高い。

雲仙市内屋敷遺跡は島原半島北部の火山性山麓扇状地上に位置する縄文時代から近世までの複合遺跡で、農業基盤整備事業に伴い1,020㎡の本調査が行われた。今回の調査では、古墳時代中期末と考えられる竪穴住居跡、古代から中世の掘立柱建物跡、中世の土壙墓、近世の溝状遺構などが確認され、縄文時代から中世の遺物が出土している。中世の土壙墓からは人骨1体が出土しており、人骨の周囲で釘が出土していることから木棺に遺体を収めていたものと考えられる。周辺では同様の遺構が確認されているため、ほかにも土壙墓が存在していた可能性がある。また、遺跡近くを流れる土黒川の氾濫に由来すると考えられる堆積も複数あり、河川の氾濫を受けてもなお、長期間にわたり土地利用が継続されている状況が確認された。

長崎市島原藩屋敷跡は民間開発に伴う試掘調査により遺跡が発見され、令和4年度に周知化、および本調査が実施された。遺跡の所在地は中世末から近世初頭に造成により築かれた町で、島原藩の屋敷についての記録が『深溝世紀』に残っている。調査では、近世以前の遺構面が2面確認され、その下層からは敷地を造成した際の造成土層も確認された。遺構は屋敷地と旧道部を隔てる瓦敷溝や島原藩屋敷と関わる建物基礎等が確認された。また近世陶磁器、瓦等の遺物が多数出土している。

佐世保市佐世保要塞砲兵連隊跡では中学校校舎建替に伴い本発掘調査が実施され、明治期の図面資料と同じ地点にレンガ建物基礎が良好に保存されていることが確認された。建物床部分は戦後の学校建設により大部分が滅失していたが、当時の入り口にあたる部分では床面が残存しており、基礎から床までの一貫した建築工程を捉えることができた。

保存目的の内容確認調査は佐世保市宮の本遺跡、島原市島原城跡、南島原市原城跡等で行われている。松浦市鷹島海底遺跡では、平成25年に確認されていた一石型木製碇の発掘調査および引き揚げが行われた。今回の調査で引き揚げられた碇は松浦市立埋蔵文化財センターで令和5年度から保存処理が実施される予定である。

壱岐市車出遺跡群では令和3年度に引き続き、旧郷ノ浦町が行った発掘調査成果に基づいて遺構の詳細確認調査が実施された。100㎡の調査であるが土器、敲石、クド石などの石製品、鉄製品等30,000点を超える遺物が出土している。クド石は未成品も含め50点以上が出土しており、島内でも一地点の出土量としては最多となる。遺構としては溝跡を確認しており、また旧郷ノ浦町の調査の際にまとまって出土していた遺物が包含層に伴うものであることを確認した。車出遺跡群の集落の様相を解明する上で貴重な成果である。

令和4年度 長崎県における発掘調査の履歴（1）

遺跡名	遺跡所在地	調査主体	調査開始日	調査終了日	調査原因	調査種別	調査面積(㎡)	備考
島原城跡	島原市	県（現文）	2022/4/18	2022/5/2	その他開発（エレベーター棟増築工事）	範囲	5.7	MOR2022201
水中遺跡分布調査	五島市・新上五島町・小値賀町・佐世保市	県（現文）	－	－	－	分布調査	－	UWS2022202
石原洞穴	佐世保市	県（現文）	2022/5/24	2022/7/29	道路	本調査	28.0	IWY2022303
杉山古墳（隣接地）	雲仙市	県（現文）	2022/6/1	2022/6/21	道路	試掘・範囲	66.5	SGY2022204
太念寺遺跡（隣接地）	佐世保市	県（現文）	2022/6/6	2022/6/17	河川	試掘	32.0	DNJ2022305
早岐瀬戸遺跡	佐世保市	県（現文）	2022/6/24	2023/1/31	河川	本調査	1022.0	HAS2022306
下出松木遺跡	島原市	県（現文）	2022/7/7	2023/1/27	道路	本調査	1149.0	SAT2022307
楠沢上遺跡	島原市	県（現文）	2022/7/22	2022/10/28	道路	本調査	864.0	KJK2022308
楠沢上遺跡（隣接地）	島原市	県（現文）	2022/7/4	2022/7/8	道路	試掘・範囲	14.5	KJK2022309
寺中A遺跡	島原市	県（現文）	2022/8/18	2022/10/14	道路	本調査	1141.0	JCA2022310
上岡遺跡	島原市	県（現文）	2022/7/11	2022/7/29	道路	試掘・範囲	40.0	OKA2022211

令和４年度 長崎県における発掘調査の履歴（2）

遺跡名	遺跡所在地	調査主体	調査開始日	調査終了日	調査原因	調査種別	調査面積(㎡)	備考
西ノ股遺跡	新上五島町	県(埋文)	2022/8/3	2022/8/19	保存目的の範囲確認調査	範確	16.0	NMT202212
大円寺遺跡(仮)	雲仙市	県(埋文)	2022/10/17	2022/10/28	道路	試掘・範確	30.0	DEJ202213
ヌルヘノクチ遺跡	対馬市	県(埋文)	2022/10/17	2022/11/4	保存目的の範囲確認調査	試掘	66.0	NHK202214
北ノ園遺跡	雲仙市	県(埋文)	2022/11/14	2022/12/2	道路	試掘・範確	67.0	KTZ202215
閨繰遺跡	壱岐市	県(埋文)	2022/11/24	2022/12/23	保存目的の範囲確認調査	範確	200.0	MYK202216
苗河内遺跡(仮)	雲仙市	県(埋文)	2022/12/6	2022/12/23	道路	試掘	45.0	NGC202217
坊屋敷石棺(隣接地)	雲仙市	県(埋文)	2023/1/24	2023/2/2	道路	試掘	27.0	BYS202218
上原遺跡(隣接地)	新上五島町	県(埋文)	2023/2/13	2023/2/24	道路	試掘	39.0	UEH202219
岡城(夏峰城)跡	雲仙市	県(埋文)	2023/2/16	2023/2/24	道路	試掘・範確	12.0	NMJ202220
灰ノ久保遺跡	島原市	県(埋文)	2023/3/6	2023/3/10	道路	試掘・範確	4.0	HNK202221
島原藩屋敷跡(仮)	長崎市	長崎市	2022/5/10	2022/5/27	住宅	試掘	8.0	
唐人屋敷跡	長崎市	長崎市	2022/5/16	2022/7/29	道路	本調査	47.6	
万才町遺跡	長崎市	長崎市	2022/5/30	2022/6/17	その他建物(検察庁庁舎建替え)	範確	8.0	
島原藩屋敷跡	長崎市	長崎市	2022/9/15	2022/11/22	住宅	本調査	100.0	
唐人屋敷跡	長崎市	長崎市	2022/12/12	2023/3/31	公園造成	本調査	600.0	
桜町遺跡	長崎市	長崎市	2023/2/1	2023/2/28	道路	本調査	60.0	
桜町遺跡	長崎市	長崎市	2023/2/23	2023/3/23	その他建物(文化施設)	範確	35.7	
早岐瀬戸遺跡(隣接地)	佐世保市	佐世保市	2022/4/12	2022/7/22	宅地造成	範確	28.7	
竹辺遺跡	佐世保市	佐世保市	2022/4/13	2022/10/17	その他建物(アパート・マンション建設)	範確	124.0	
小谷南窯跡	佐世保市	佐世保市	2022/5/9	2022/5/9	個人住宅	範確	3.0	
早岐瀬戸遺跡(隣接地)	佐世保市	佐世保市	2022/6/16	2022/6/16	その他建物(アパートマンション)	試掘	16.0	
早岐瀬戸遺跡(隣接地)	佐世保市	佐世保市	2022/6/17	2022/6/17	その他建物(アパートマンション)	試掘	16.0	
佐世保要塞砲兵連隊遺跡	佐世保市	佐世保市	2022/6/18	2022/8/31	その他建物(中学校建設)	本調査	400.0	
早岐瀬戸遺跡(隣接地)	佐世保市	佐世保市	2022/6/28	2022/6/29	個人住宅	試掘	2.6	
早岐瀬戸遺跡	佐世保市	佐世保市	2022/8/31	2022/8/31	住宅	範確	2.3	
横手立岩原遺跡(隣接地)	佐世保市	佐世保市	2022/9/21	2023/10/7	土地区画整理	試掘	10.1	
深浦遺跡	佐世保市	佐世保市	2022/11/7	2022/11/7	その他開発(携帯電話無線基地局)	範確	2.3	
矢岳貯水所跡	佐世保市	佐世保市	2022/11/7	2022/11/19	保存目的の範囲確認調査	範確	42.0	
宇久	佐世保市	佐世保市	2023/1/16	2023/1/20	ガス・電気・水道等	試掘	7.8	
宇久	佐世保市	佐世保市	2023/1/23	2023/1/27	ガス・電気・水道等	試掘	28.5	
直谷稲荷神社岩陰遺跡(隣接地)	佐世保市	佐世保市	2023/2/1	2023/2/24	保存目的の範囲確認調査	試掘	15.5	
愛宕遺跡(隣接地)	佐世保市	佐世保市	2023/2/20	2023/2/20	店舗	試掘	20.0	
宮の本遺跡	佐世保市	佐世保市	2023/3/6	2023/3/22	保存目的の範囲確認調査	本調査	18.0	
宇久	佐世保市	個人	2022/4/18	2022/4/27	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	40.5	
宇久	佐世保市	個人	2022/4/20	2022/5/16	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	12.1	
宇久	佐世保市	個人	2022/4/20	2022/6/14	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	20.1	
宇久	佐世保市	個人	2022/5/9	2022/5/27	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	5.5	
宇久	佐世保市	個人	2022/5/10	2022/5/25	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	20.1	
宇久	佐世保市	個人	2022/5/17	2022/6/1	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	14.3	
宇久	佐世保市	個人	2022/5/23	2022/5/31	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	12.1	
宇久	佐世保市	個人	2022/5/27	2022/6/1	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	10.0	
宇久	佐世保市	個人	2022/5/31	2022/7/4	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	30.6	
宇久	佐世保市	個人	2022/6/1	2022/6/23	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	8.0	
宇久	佐世保市	個人	2022/6/2	2022/7/8	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	43.7	
宇久	佐世保市	個人	2022/6/21	2022/7/8	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	31.8	
宇久	佐世保市	個人	2022/6/23	2022/7/20	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	27.9	
宇久	佐世保市	個人	2022/6/27	2022/7/20	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	20.0	
宇久	佐世保市	個人	2022/7/4	2022/8/26	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	36.2	
宇久	佐世保市	個人	2022/7/6	2022/8/26	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	36.5	
宇久	佐世保市	個人	2022/7/20	2022/9/20	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	31.7	
宇久	佐世保市	個人	2022/7/29	2022/9/29	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	11.9	
宇久	佐世保市	個人	2022/8/29	2022/9/29	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	11.9	
宇久	佐世保市	個人	2022/9/1	2022/10/13	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	20.1	
宇久	佐世保市	個人	2022/9/8	2022/10/14	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	15.8	
宇久	佐世保市	個人	2022/9/13	2022/10/14	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	31.5	
宇久	佐世保市	個人	2022/9/26	2022/10/13	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	11.9	
東空閑城跡	島原市	島原市	2022/4/18	2022/5/23	その他開発(植樹)	範確	27.0	
島原城跡	島原市	島原市	2022/5/16	2022/6/6	その他開発(竹根の切除)	範確	24.0	
下の丁	島原市	島原市	2022/5/31	2022/6/9	その他開発(売買計画)	試掘	4.5	
東鷹野遺跡	島原市	島原市	2022/5/23	2022/5/27	ガス・電気・水道等	範確	7.0	
礫石原遺跡	島原市	島原市	2022/5/23	2022/5/27	ガス・電気・水道等	範確	7.0	
西川遺跡	島原市	島原市	2022/6/7	2022/6/9	農業基盤整備事業(農道等を含む)	範確	3.6	
寺中城跡	島原市	島原市	2022/6/15	2022/6/30	農業基盤整備事業(農道等を含む)	範確	3.6	
寺中B遺跡	島原市	島原市	2022/7/8	2022/8/22	農業基盤整備事業(農道等を含む)	範確	14.4	
島原城跡	島原市	島原市	2022/12/13	2023/3/31	保存目的の範囲確認調査	範確	157.0	
小野条里遺跡	諫早市	諫早市	2022/4/12	2022/5/31	宅地造成	範確	4.0	
山川内遺跡	諫早市	諫早市	2022/6/13	2022/12/24	保存目的の範囲確認調査	範確	28.0	
ピッチの鳥	諫早市	諫早市	2022/8/16	2022/12/23	保存目的の範囲確認調査	試掘	2.4	
黒丸遺跡	大村市	大村市	2022/5/18	2022/5/31	住宅	範確	88.5	
黒丸遺跡	大村市	大村市	2022/6/1	2022/6/13	住宅	範確	20.0	
横野遺跡(隣接地)	大村市	大村市	2022/7/7	2022/7/15	農業基盤整備事業(農道等を含む)	試掘	15.0	
帯取遺跡	大村市	大村市	2022/7/26	2022/8/3	宅地造成・その他開発(宅地造成)	範確	34.0	
平野遺跡	大村市	大村市	2022/8/23	2022/8/31	宅地造成	範確	51.0	
黒丸遺跡	大村市	大村市	2022/9/12	2022/9/16	宅地造成	範確	22.5	
玖島城跡	大村市	大村市	2022/10/5	2022/10/13	その他建物(防護柵)	範確	40.0	
三城城下跡	大村市	大村市	2022/10/19	2022/10/28	宅地造成	範確	36.0	
石走古墳群(隣接地)	大村市	大村市	2022/11/14	2022/11/14	宅地造成	試掘	4.0	
三城城下跡	大村市	大村市	2022/11/15	2022/11/25	宅地造成	範確	48.0	
古賀島4遺跡(隣接地)	大村市	大村市	2022/11/28	2022/12/2	その他建物(共同住宅)	試掘	24.0	
小路口遺跡	大村市	大村市	2022/12/6	2022/12/15	宅地造成	範確	48.0	
富の原遺跡	大村市	大村市	2023/1/11	2023/1/31	宅地造成	範確	325.0	
三城城跡(隣接地)	大村市	大村市	2023/2/14	2023/2/17	宅地造成	試掘	24.3	
黒丸遺跡	大村市	大村市	2023/3/7	2023/3/10	宅地造成	範確	34.6	
鄭成功居宅跡	平戸市	平戸市	2022/7/20	2022/7/22	その他建物(廟)	範確	8.0	
平戸和蘭商館跡	平戸市	平戸市	2022/9/21	2022/11/2	保存目的の範囲内容確認調査	範確	39.0	
亀岡城跡	平戸市	平戸市	2022/11/29	2022/12/27	その他建物(神社)	範確	20.0	

令和 4 年度 長崎県における発掘調査の履歴（3）

遺跡名	遺跡所在地	調査主体	調査開始日	調査終了日	調査原因	調査種別	調査面積(㎡)	備考
姫神社遺跡	松浦市	松浦市	2022/5/19	2022/5/25	住宅	範確	8.0	
鷹島海底遺跡	松浦市	松浦市	2022/9/15	2022/10/5	保存目的の範囲確認調査	本調査	25.0	
桟原城跡	対馬市	対馬市	2022/9/1	2022/9/14	その他建物(陸上自衛隊対馬駐屯地営内)	範確	35.0	
瀬ノサエ遺跡	対馬市	大学	2022/11/5	2022/11/12	学術調査	範確	22.8	
原の辻遺跡	壱岐市	壱岐市	2022/5/1	2022/6/30	その他開発(浄化槽設置に伴う事前調査)	範確	36.0	
車出遺跡群隣接地	壱岐市	壱岐市	2022/7/1	2022/8/31	その他開発(ペット霊園建設に伴う事前調査)	試掘	36.0	
車出遺跡群	壱岐市	壱岐市	2022/8/16	2022/12/7	保存目的の範囲確認調査	範確	100.0	
覩城跡	壱岐市	壱岐市	2022/10/3	2022/10/4	自然崩壊	範確	5.0	
串山ミルメ浦遺跡	壱岐市	壱岐市	2022/12/1	2023/2/28	保存目的の範囲確認調査	範確	20.0	
原の辻遺跡	壱岐市	壱岐市	2022/12/7	2023/1/4	自然崩壊	本調査	50.0	
八本木窯跡	五島市	大学	2022/8/16	2022/9/23	学術調査	範確	20.0	
桟敷松遺跡	五島市	五島市	2022/10/12	2022/10/14	その他開発(太陽光発電システム設置工事)	範確	4.0	
中高野遺跡	雲仙市	雲仙市	2022/4/18	2022/9/30	農業基盤整備事業(農道等も含む)	本調査	3830.0	
山田原東地区	雲仙市	雲仙市	2022/6/7	2022/8/24	農業基盤整備事業(農道等も含む)	試掘	20.0	
大塚川地区	雲仙市	雲仙市	2022/6/27	2022/7/8	農業基盤整備事業(農道等も含む)	試掘	6.0	
内屋敷遺跡	雲仙市	雲仙市	2022/7/8	2022/12/28	農業基盤整備事業(農道等も含む)	本調査	1020.0	
魚洗川B遺跡	雲仙市	雲仙市	2022/8/3	2022/8/10	個人住宅	範確	2.0	
湯田川地区	雲仙市	雲仙市	2022/8/22	2022/8/24	農業基盤整備事業(農道等も含む)	試掘	2.0	
山田条里跡	雲仙市	雲仙市	2022/8/29	2022/8/31	個人住宅	範確	2.0	
山田条里跡	雲仙市	雲仙市	2022/8/29	2022/8/31	個人住宅	範確	6.0	
小路遺跡(隣接地)	雲仙市	雲仙市	2022/9/5	2022/9/8	店舗	試掘	2.0	
伊古遺跡	雲仙市	雲仙市	2022/9/21	2022/9/28	その他建物	範確	8.0	
胡麻壺遺跡及び隣接地	雲仙市	雲仙市	2022/10/3	2022/10/13	ガス・電気・水道等	試掘・範確	12.0	
茂遺跡B	雲仙市	雲仙市	2022/11/2	2022/11/24	その他建物	範確	12.0	
大塚川地区	雲仙市	雲仙市	2023/1/5	2023/1/6	農業基盤整備事業(農道等も含む)	試掘	2.0	
湯田川地区	雲仙市	雲仙市	2023/1/5	2023/3/3	農業基盤整備事業(農道等も含む)	試掘	26.0	
荒牧尾登地区	雲仙市	雲仙市	2023/3/13	2023/3/28	農業基盤整備事業(農道等も含む)	試掘	18.0	
二本櫨遺跡	南島原市	南島原市	2022/4/16	2022/8/2	道路	本調査	400.0	
大崎鼻遺跡	南島原市	南島原市	2022/4/16	2022/8/12	道路	本調査	700.0	
常光寺前駅西側遺跡	南島原市	南島原市	2022/5/16	2022/6/3	その他の農業関係事業(農道等も含む)	本調査	60.0	
有家中部地区	南島原市	南島原市	2022/6/9	2022/12/26	農業基盤整備事業(農道等も含む)	試掘	136.0	
上横馬場遺跡	南島原市	南島原市	2022/8/18	2022/9/26	農業基盤整備事業(農道等も含む)	範確	154.0	
下板首遺跡	南島原市	南島原市	2022/9/28	2022/10/6	農業基盤整備事業(農道等も含む)	範確	12.0	
水打場遺跡	南島原市	南島原市	2022/11/4	2023/5/31	農業基盤整備事業(農道等も含む)	本調査	1587.0	
町村遺跡	南島原市	南島原市	2022/11/15	2023/3/28	道路	本調査	230.0	
北岡金比羅祀遺跡	南島原市	南島原市	2022/11/25	2023/1/20	道路	本調査	135.0	
原城跡	南島原市	南島原市	2022/12/13	2023/3/24	保存目的の範囲確認調査	範確	240.0	
上原遺跡	南島原市	南島原市	2023/1/23	2023/3/6	その他の開発(植栽のための盛土工)	範確	100.0	
面高遺跡	西海市	西海市	2022/7/6	2022/7/8	個人住宅	範確	199.7	
横瀬郷	西海市	大学	2022/7/23	2022/12/18	学術調査	試掘	12.0	
高火頭遺跡	西海市	西海市	2022/8/4	2022/8/24	農業基盤整備事業(農道等も含む)	範確	60.0	
末永遺跡(隣接地)	佐々町	佐々町	2022/6/13	2022/6/17	宅地造成	試掘	4.0	
才貫田石棺群	東彼杵町	東彼杵町	2022/10/20	2022/10/21	その他建物(大瀬鉄塔)保存目的の範囲内容確認調査	範確	4.0	
沖ノ神嶋神社(水中調査)	小値賀町	小値賀町	2022/10/14	2022/10/31	保存目的の範囲確認調査	試掘	－	
水ノ下遺跡	小値賀町	小値賀町	2023/2/16	2023/2/22	その他建物	試掘	16.0	
沖ノ神嶋神社境内	小値賀町	小値賀町	2023/2/27	2023/3/11	保存目的の範囲確認調査	試掘	22.8	

令和 4 年度 県及び市町教委発行の埋蔵文化財発掘調査報告書等一覧

編集機関	報告書名	収録遺跡	シリーズ名	集数
長崎県 埋蔵文化財センター	長崎県埋蔵文化財調査年報30	灰ノ久保遺跡、早岐瀬戸遺跡、津吹遺跡、原口B遺跡、上新高野遺跡、大高野遺跡、御城濱遺跡、百間竈遺跡、寺中A遺跡（隣接地）、下源在高野遺跡（隣接地）、水中遺跡分布調査、石屋洞穴、原の辻遺跡（隣接地）、畑中遺跡、岡城（夏姉城）跡（隣接地）、杉山古墳（隣接地）	長崎県埋蔵文化財ｾﾝﾀｰ調査報告書	45
	津吹遺跡・原口B遺跡・上新高野遺跡・大高野遺跡	津吹遺跡・原口B遺跡・上新高野遺跡・大高野遺跡		46
	石屋洞穴	石屋洞穴		47
長崎市教育委員会	桜町遺跡	桜町遺跡	－	
	魚の町遺跡（遺構・遺物報告及び総括編）	魚の町遺跡		
長崎市被爆継承課	長崎原爆遺跡調査報告書（Ⅱ）	長崎原爆遺跡		
島原市教育委員会	島原市内遺跡範囲確認調査報告書2	下源在高野遺跡、上一野遺跡、西川遺跡、甘木遺跡、寺中B遺跡、寺中城跡、島原城跡	島原市文化財調査報告書	21
大村市教育委員会	竹松遺跡	竹松遺跡	大村市文化財調査報告書	47
平戸市教育委員会	市内遺跡確認調査報告書	鄭成功居宅跡、平戸和蘭商館跡、亀岡城跡	平戸市の文化財	78
松浦市教育委員会	松浦市鷹島海底遺跡	鷹島海底遺跡	松浦市文化財調査報告書	12
対馬市教育委員会	桟原城跡	桟原城跡	対馬市文化財調査報告書	12
壱岐市教育委員会	原の辻遺跡（1092-5地点）	原の辻遺跡	壱岐市文化財調査報告書	35
	車出遺跡群2次（Ⅲ区）、車出遺跡群隣接地（1149地点）、原の辻遺跡（原池341地点）、串山ミルメ浦遺跡5次（2693地点）	車出遺跡群2次（Ⅲ区）、車出遺跡群隣接地（1149地点）、原の辻遺跡（原池341地点）、串山ミルメ浦遺跡5次（2693地点）		36
南島原市教育委員会	内野貝塚（第二分冊）	内野貝塚	南島原市文化財調査報告書	31
	東新堂原遺跡、野中B遺跡、野中C遺跡、野中A遺跡	東新堂原遺跡、野中B遺跡、野中C遺跡、野中A遺跡		32
	大崎鼻遺跡	大崎鼻遺跡		33

Ⅱ．本県が主催する文化財保護に関係する研修事業

1．長崎県文化財保護行政主管課長会議・担当者会議

目　的　県及び市町文化財保護行政主管課長及び担当者に対し、文化財保護及び活用に関する新たな情報や専門的知識を習得する場を提供し、県内文化財保護行政の円滑な推進を図る。

期　日　令和４年６月２日（木）13:30-15:30

会　場　長崎県農協会館７階会議室

参加者　各市町文化財保護主管課長及び担当者
県関係各課長および担当者　計 50 名

内　容　（１）開会
（２）学芸文化課長あいさつ
（３）説明等（学芸文化課文化財班）
①美術工芸品（取り扱いマニュアル）（川口洋平）
②文化的景観（川口洋平）
③史跡名勝天然記念物＋現状変更（片多雅樹）
④建造物・伝統的建造物群保存地区（山崎努）
⑤埋蔵文化財（山梨千晶）
⑥無形文化財、有形・無形民俗文化財（ユネスコ）（大津康裕）
⑦文化財補助金（メセナ・自然災害）（大津康裕）
⑧その他（水中遺跡ハンドブック・全国担当者講習会について）
（４）質疑応答
（５）その他連絡事項

2．開発部局・文化財保護部局担当者埋蔵文化財基礎研修

目　的　（１）開発部局担当者の埋蔵文化財に対する保護意識の醸成を図り、その取扱について理解を深めることで、県内埋蔵文化財保護行政を円滑に推進する。
（２）文化財主管課担当者に埋蔵文化財に係る基礎的な知識を習得する場を提供し、その保護に関する基本的な考え方や事務手続きなどへの理解を深める機会とする。

期　日　令和４年６月２日（木）10:00-12:30

会　場　長崎県農協会館７階会議室

参加者　国・県及び市町開発部局担当者 30 名、県及び市町文化財担当者 42 名　合計 72 名

内　容　（１）所長あいさつ
（２）埋蔵文化財基礎研修
①長崎県の埋蔵文化財とその保護制度（長崎県埋蔵文化財センター　宮武直人）
②埋蔵文化財に係る届出事務について（長崎県教育庁学芸文化課　山梨千晶）
③島原市における埋蔵文化財の保存と活用（島原市教育委員会　吉岡慈文）
④質疑応答・事務連絡

3．埋蔵文化財担当者専門技術研修

目　的　県内市町の埋蔵文化財専門職員及び埋蔵文化財保護業務を担当する職員等を対象として、埋蔵文化財保護行政を円滑に遂行するために必要な知識の修得を図る。

日　時　令和4年12月15日（木）・16日（金）

会　場　早岐地区コミュニティーセンター第1会議室・早岐瀬戸遺跡遺物整理現場事務所

講　師　村上伸之ほか3名（以下のとおり）

参加者　県及び市町文化財担当者24名、民間調査機関社員19名　合計43名

内　容

［1日目］

（1）所長あいさつ

（2）専門技術研修

①有田焼について（有田町教育委員会 有田町歴史民俗資料館　村上伸之）

②波佐見焼について（波佐見町教育委員会　中野雄二）

③三川内焼について（佐世保市教育委員会　溝上隼弘）

④早岐瀬戸遺跡の発掘調査（長崎県埋蔵文化財センター　川畑敏則）

［2日目］

⑤早岐瀬戸遺跡の出土遺物の観察

⑥持ち寄り遺物の検討

⑦諸連絡

1日目　座学風景

2日目　持ち寄り遺物の検討

Ⅲ．長崎県埋蔵文化財センターの事業

１．東アジア考古学研究事業

（１）発掘調査事業

長崎県埋蔵文化財センターでは、原の辻遺跡調査研究事業として遺跡内の環濠や旧地形等の状況調査を目的に平成14年度から国庫補助を受けながら範囲確認調査を実施している。一昨年の令和３年度で、平成24年度から続いてきた10年の調査計画が終了したため、令和４年度からは、遺跡の北側から南側にかけての遺跡の広がりや遺構の状況を確認するために新たな５年計画を開始した。またこの事業と共に、新たに３か年の「しまの遺跡の魅力」探求事業を開始した。これは「埋蔵文化財を活用した壱岐・対馬・五島地域の活性化」と「郷土を愛する人材の育成」を目的とするもので、壱岐に加え、対馬地域と五島地域においても発掘調査を実施するものである。

調査の概要については、Ⅳ章以下を参照されたいが、各調査は次の場所で行なわれた。

五島地域　場所：新上五島町酉ノ股遺跡（上五島高校敷地内）
期間：８月３日から８月19日にかけて実施
成果：遺構・遺物なし。調査に上五島高校生徒が参加

対馬地域　場所：ヌルヘノクチ遺跡（対馬市峰町字三根）
期間：10月17日から11月４日にかけて実施
成果：弥生時代後期から古墳時代前期の遺構・遺物が出土

壱岐地域　場所：聞繰遺跡　※令和３年度の継続調査
期間：11月24日から12月23日にかけて実施
成果：弥生時代の甕棺墓（小児棺）が出土

（２）巡回遺跡展・講演会の開催

東アジア考古学研究室は、本県が古代から東アジア交流の要衝として独特の文化を育んできた歴史的経緯を踏まえ、東アジア的視点に立った考古学研究を推進している。本事業では、本県の離島地域における大陸と本土との交流を示す埋蔵文化財を発見・周知することを目的に、壱岐・対馬・五島地域を対象に埋蔵文化財の調査研究を行い、その成果の情報発信の場として巡回遺跡展および講演会を開催する。令和４年度は「島で生きる。海と暮らす。―五島列島の遺跡から見た交流と暮らしの変化―」をテーマとして巡回遺跡展・講演会を実施した。

○主　催　長崎県埋蔵文化財センター
○共　催　新上五島町教育委員会
○後　援　釜山博物館、五島市、小値賀町教育委員会、佐世保市教育委員会、長崎大学医学部、魏志倭人伝のクニグニネットワーク参加教育委員会、長崎新聞社、西日本新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、壱岐新聞社、壱岐新報社、ＮＨＫ長崎放送局、ＮＢＣ長崎放送、ＫＴＮテレビ長崎、ＮＣＣ長崎文化放送、ＮＩＢ長崎国際テレビ、（株）五島テレビ

巡回遺跡展・講演会チラシ

巡回遺跡展展示風景（2F 展示室）

＜巡回遺跡展＞

○期　間　令和４年９月 17 日（土）～令和４年 10 月９日（日）

○場　所　鯨賓館ミュージアム

○参加者　385 名

＜講演会＞

○日　時　令和４年 10 月９日（日）13:00 ～ 16:00

○場　所　鯨賓館ホール

○参加者　70 名

○内　容

講 演 1 「海から見た五島列島の歴史」
長崎県教育庁学芸文化課　文化財班係長
中尾　篤志

講 演 2 「五島列島の先史人 ―海を駆けた足跡を追う―」
熊本大学名誉教授　木下　尚子

研究発表
「定光寺前遺跡出土の土師器からみた中世壱岐の研究」
壱岐高等学校東アジア歴史・中国語コース
歴史学専攻生

ギャラリートーク

講演会の様子

ギャラリートークの様子

（3）東アジア諸国の研究機関との連携

長崎県埋蔵文化財センターは、平成 27 年５月に韓国・釜山博物館と友好交流機関協定を締結して以来、相互に職員を派遣し、発掘調査への参加や共同で資料調査を行うなどの学術交流を実施している。長崎県と釜山市では相互に関連のある考古資料が出土しているが、日韓の研究者双方の目で、同時に検討することで、海を介した交流の実態が明らかになってきた。また、中国東北地方（主に遼寧省・吉林省）を中心とした研究機関とも連携を深めている。

令和４年度には、釜山博物館との共同研究を、韓国釜山市に所在する東三洞貝塚や凡方遺跡から出土した黒曜石をテーマとして実施することとし、その成果は、釜山博物館および長崎県埋蔵文化財セ

一支国博物館特別講座　研究成果発表

ンターの双方が刊行する研究紀要に掲載されている。またその研究成果は、令和５年２月19日に一支国博物館の特別講座において公開した。

○新型コロナウイルス感染拡大による事業への影響と合同発掘調査の実施

令和２年度から令和３年度にかけては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、職員の往来を伴う交流は不可能であった。しかしながら令和４年度には、新型コロナウイルス感染拡大に伴う規制が緩和されつつある７月10日から７月17日にかけて釜山広域市加徳島に所在する洞理山（どうりさん）遺跡において、また10月18日から10月28日にかけて対馬市峰町に所在するヌルヘノクチ遺跡において合同発掘調査を実施し、職員の技術交流及び情報共有を行った。実施に向けて様々な困難や不確定要素があったものの、密に連絡を取り合うことで、合同発掘調査を実現することができた。

洞理山遺跡における合同発掘調査風景

ヌルヘノクチ遺跡における合同発掘調査風景

（４）長崎県埋蔵文化財センター研究紀要第13号の刊行

本センターの研究紀要は、開所以来毎年刊行を重ねている。第13号では次の３本の論考を掲載した。

［内容］

川道　寛・金　恩瑩・白石渓冴「東山洞貝塚・凡方遺跡出土の黒曜石産地同定」

川畑　敏則「壱岐出土の高麗無釉陶器について」

野澤　哲朗「大雄寺の五百羅漢で採集された陶磁器について」

２．保存処理事業

県保有資料の木製品21点、金属製品312点の計333点に関して国庫補助事業を活用して保存処理を行った。木製品はトレハロース含浸処理法により保存処理を実施した。金属製品は主に鉄製品と銅製品に大別されるが、いずれも透過Ｘ線撮影等事前調査を実施したのち、錆取り作業⇒脱塩処理（銅製品はBTA（ベンゾ・トリ・アゾール）処理）⇒アクリル樹脂含浸強化処理⇒接合・修復を実施した。

また県内市町が保有する資料に関しても所定の申請を行えば保存処理施設の利用を許可しており、令和４年度は６市町からの利用があり計1318点の保存処理を行った。土器は水で希釈できるエマルジョ

機器利用の様子

ン系アクリル樹脂を含浸し強化した。

出土遺物の保存処理に伴う事前調査機器（精密分析機器）も保有し、金属製品の材質分析や構造調査等も行っている。外部利用も受け入れており、令和４年度は８機関が、蛍光Ｘ線分析装置、透過Ｘ線画像撮影装置、実体顕微鏡などを利用した。

令和４年度国庫補助事業による保存処理一覧

◆木製品：21点

遺　跡　名	所在地	遺跡番号	処理点数	処理方法	備　考
早岐瀬戸遺跡	佐世保市	202005	21	トレハロース含浸処理	令和2年度出土

◆金属製品：312点

遺　跡　名	所在地	遺跡番号	処理点数	処理内容	備　考
早岐瀬戸遺跡	佐世保市	201906	195	錆取り・ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ ↓ 脱塩・BTA処理 ↓ 樹脂含浸強化	令和元年度出土
灰ノ久保遺跡	島原市	202101	24		令和3年度出土
津吹遺跡	島原市	202103	10		令和3年度出土
原口B遺跡	島原市	202104	34		令和3年度出土
寺中A遺跡	島原市	202105	49		令和3年度出土

早岐瀬戸遺跡出土「木簡」の処理例（左から処理前、赤外線画像、処理後）

令和４年度　県内市町保存処理点数一覧

市町名	利用期間	遺跡名	種別	点数
長崎市	長崎市文化財課	魚の町遺跡	木製品	14
	出島復元整備室	出島	木製品	1
諫早市	諫早市文化振興課	千々和ミゲル墓所、西ノ角遺跡、長戸鬼塚古墳、小野古墳、丸尾古墳	金属製品、ガラス製品	176
壱岐市	壱岐市社会教育課	カラカミ遺跡、山中遺跡、原の辻遺跡	金属製品、骨角器	5
西海市	長崎国際大学	横瀬浦	金属製品	2
雲仙市	雲仙市生涯学習課	稲荷鬼塚古墳	土器、金属製品	983
南島原市	南島原市文化財課	内野貝塚	動植物遺体	137

令和４年度 精密分析機器外部利用一覧

利用時期	利用者	利用内容	使用機器
2022年5月	雲仙市生涯学習課	黒曜石の産地推定、土器含浸	蛍光X線分析装置、減圧含浸装置
	壱岐市社会教育課	化石片、石片の材質確認	蛍光X線分析装置
2022年6月	佐世保市文化財課	黒曜石の産地推定	蛍光X線分析装置
	長崎大学	黒曜石の産地推定	蛍光X線分析装置
2022年7月	諫早市文化振興課	金属製品の保存処理	透過X線撮影装置、鋳取り装置、減圧含浸装置
2022年10月	新上五島町文化財課	海揚がり木造の保存処理、金属製品の分析	透過X線撮影装置、蛍光X線分析装置
	佐世保市文化財課	石材分析、土器圧痕分析	実体顕微鏡、走査型電子顕微鏡、蛍光X線分析装置
	壱岐市社会教育課	金属製品の保存処理	透過X線撮影装置、鋳取り装置、減圧含浸装置
2022年11月	壱岐市社会教育課	金属製品の保存処理	透過X線撮影装置、鋳取り装置、減圧含浸装置
2022年12月	長崎国際大学	金属製品の保存処理と分析	透過X線撮影装置、鋳取り装置、蛍光X線分析装置
	雲仙市生涯学習課	黒曜石の産地推定	蛍光X線分析装置
2023年2月	佐世保市文化財課	古銭の保存処理、黒曜石の産地推定	透過X線撮影装置、実体顕微鏡、蛍光X線分析装置
	諫早市文化振興課	金属製品の保存処理	透過X線撮影装置、鋳取り装置、減圧含浸装置
2023年3月	南島原市文化財課	獣骨、植物遺体の含浸	減圧含浸装置

３．水中文化遺産保存活用推進事業

(1) 概要

本県は、面積 4,131 ㎢（全国 37 位）の狭小な県だが、島嶼は全国で最も多く（1,479 島）、海岸線も北海道に次ぐ 4,183 ㎞と長大である。リアス式海岸や暖流の影響で漁業も非常に盛んであり、海を隔て大陸半島と接する立地のため海を介した交流の歴史も豊かである。近年は、鷹島神崎遺跡の国史跡指定を契機に全国的に水中遺跡に対する関心は高まりつつある。しかしながら、水中遺跡の範囲や性格、重要性などは十分に把握されておらず、その保存・活用に向けた基礎資料の整備および保護にあたる人材の育成が急務である。

本事業では、県内全域を対象とする水中遺跡の分布調査により、その把握と周知を進めるとともに、水中考古学体験講座を開催し、水中遺跡保護の人材育成と関係人口の拡大を目指す。

(2) 県内水中遺跡の分布調査

本事業では、令和３年度から令和６年度までに県内全域の水中遺跡分布調査を実施し、令和７年度に報告書を刊行する。分布調査の結果は、今後計画される海洋開発と調整を図るための基礎資料となる。令和４年度は、五島列島を対象に調査を行い、合計 39 か所の遺物散布地等の水中遺跡を確認できた。調査の結果は市町文化財保護主管課とも共有の上、逐次遺跡地図の更新を行う予定である。今年度調査の内容は、別項で後述する。

(3) 水中考古学体験講座

水中考古学体験講座は、松浦市鷹島海底遺跡が所在する松浦市との共催事業である。令和３年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン配信のみの開催であった。令和４年度は、令和４年８月 22 日（月）から８月 24 日（水）の３日間、松浦市鷹島において開催し、全国から現地参加 28 名、オンライン参加 20 名、合計 48 名（学生 37 名、自治体職員等 11 名）の参加者を集めた。

内容 ［講義］

・講義１「鷹島海底遺跡の調査について」（國學院大学教授　池田榮史）
・講義２「海外の水中考古学研究について」（東海大学准教授　木村淳）
・講義３「我が国における水中遺跡保護の取り組み」（文化庁主任文化財調査官　近江俊秀）

・講義４「水中遺跡出土遺物の保存処理」（奈良大学学長　今津節生）
・報告１「沖縄県における水中遺跡調査」（沖縄県立埋蔵文化財センター　片桐千亜紀）
・報告２「琵琶湖における水中遺跡調査」（豊橋市文化財センター　中川永）
［エクスカーション等］
・ガイダンス施設及び保存処理施設の見学
・史跡鷹島神崎遺跡の陸上散策
・ワークショップ

座学の様子

体験講座の様子

４．教育普及事業

（１）オープン収蔵展示

調査研究の成果を紹介するため、併設する壱岐市立一支国博物館のオープン収蔵庫（高さ 5m のガラス張りで、キッズこうこがく研究所および博物館２階より内部を見ることができる収蔵庫）を活用して、遺物の展示を行っている。令和４年度は以下の３つのテーマで遺物展示を行った。

第１回目『石鍋ものがたり－長崎における石鍋の生産と流通－』では、県内の石鍋製作遺跡出土の石鍋未成品と貴重な調査写真とともに、煮炊道具としての石鍋や、生産地と流通について紹介した。

第２回目『発掘 長崎奉行所－よみがえる２つの奉行所－』では、西役所跡、立山役所跡から出土した貴重な出土品を展示し、発掘調査によって見えてきた「２つの奉行所」の姿を紹介した。

第３回目『100 年前の NAGASAKI －遺跡が伝える近代の長崎県－』では、佐世保要塞砲兵連隊衛戍病院跡の発掘調査成果を中心に、近代の長崎県の様子を紹介した。

令和４年度　オープン収蔵展示

テーマ	主な展示品	期間
石鍋ものがたり －長崎における石鍋の生産と流通－	石鍋未成品、木製工具（西海市：ホゲット石鍋製作遺跡、下茅場遺跡）、パレン状石製品、滑石製錘（諫早市：伊木力遺跡）、滑石製石皿（大村市：玖島城跡）、滑石製煙管、石塔（早岐瀬戸遺跡）ほか	令和4年7月1日（金） ～ 令和4年10月23日（日）
発掘 長崎奉行所 －よみがえる2つの奉行所－	十字架文軒丸瓦（西役所跡）、十手（立山役所跡）、オリーブオイルジャー（立山役所跡、西役所跡出土）、くらわんか碗（立山役所跡、西役所跡）、清朝磁器（立山役所跡、西役所跡）、青花皿（立山役所跡、西役所跡）、花十字文瓦（立山役所跡、西役所跡）ほか	令和4年10月28日（金） ～ 令和5年 2月26日（日）
100年前のNAGASAKI －遺跡が伝える近代の長崎県－	トイレ壺、土管、レンガ、古銭、中国銭、ガラス製品（アンプル）、薬莢（佐世保市：佐世保要塞砲兵連隊衛戍病院跡）、防衛食容器、薬瓶（長崎奉行所（立山役所）跡）ほか	令和5年3月3日（金） ～ 令和5年6月25日（日）

『石鍋ものがたり－長崎における石鍋の生産と流通－』

『発掘 長崎奉行所 －よみがえる２つの奉行所－』

（２）情報誌

一般向けPDF情報誌として『南北市縄』第17号をHPで配信した。この情報誌では，前年度（令和３年度）のセンター情報をわかりやすくまとめた記事を掲載している。

（３）ホームページおよびFacebookの公開更新

ホームページ（http://www.nagasaki-maibun.jp/）には『施設案内』，収蔵する出土品や精密分析機器の『施設利用』に関する申請書を掲載しているほか、近年の発掘調査状況を掲載している『センター発掘情報』，オープン収蔵展示や教育支援事業などを紹介する『インフォメーション』，刊行物を紹介する『出版物情報』，バックヤードツアーなどイベントを紹介する『イベント情報』などを掲載している。また、平成26年から開設しているFacebookページ（http://fb.com/1461241530809034）で多くの写真を用いて親しみやすい情報の発信に取り組んでいるほか、長崎県インターネット放送局「よかよかテレビ（よかテレ）」や動画投稿サイトYoutubeでは巡回遺跡展の展示解説や講演会、現地説明会の動画を閲覧できる。

巡回遺跡展の展示解説動画再生画面（部分）

（４）体験学習

『精密分析機器で調べてみよう』と題し、主に小学生を対象とした体験学習を夏休み期間中に開催している。子どもたちに分かりやすく、また興味を示すようなアイデアを盛り込み、各機器の特性を活かした工夫をこらしている。身近なものを、精密機器を用いて観察、分析することで得られる情報から、センターの仕事内容や成果の普及活動に努めている。令和４年度は10回の開催で計63名の参加があった。

透過Ｘ線撮影装置の操作体験

（５）バックヤードツアー

埋蔵文化財センターに併設されている一支国博物館のイベントとして，毎月第３土曜日にバックヤードツアーを実施している。普段立ち入ることができないセンターの保存処理施設や出土品収蔵庫等を

見学するツアーで、主にセンター職員が対応している。令和４年度は12回の開催で、計84名の参加があった。

出土品の整理作業工程を説明

木製品の保存処理を解説

（６）資料貸出・閲覧・掲載許可

収蔵している出土品等の貸出や資料閲覧、写真等掲載に関して、所定の申請を受け、使用目的等適切であれば許可している。令和４年度は出土品の資料貸出２件（九州国立博物館、長崎市文化観光部出島復元整備室）、資料閲覧11件、写真掲載許可申請８件に関して対応した。

（７）長崎県立壱岐高等学校「東アジア歴史・中国語コース」支援

本センターでは、高校生の離島留学制度で設定された長崎県立壱岐高等学校東アジア歴史・中国語コースの授業支援を行っている。支援は１年生のコース生全員と、２年生の歴史学専攻生の授業の一部を担当しており、埋蔵文化財の公的な専門機関が年間を通して高校の授業を担当する例は全国でも稀である。

令和４年度は、１年生の「歴史学入門」を６回、２年生の「考古学入門・生活文化史」を22回、３年生の「課題研究」を１回実施し、特に２年生に対しては奈良大学と奈良県が主催している「全国高校生歴史フォーラム」に研究論文を応募するための研究支援を中心に行った。研究支援は、１年次に論文のテーマ検討を先行して行い、２年次の９月まで通常の授業時間および放課後の時間帯に論文作成のための指導を行った。その結果、『『神宿る島』壱岐の信仰について～歴史的変遷と特異性～」を研究論文として提出し、上位５編の「優秀賞」に選出された。

島内巡検の様子

原の辻遺跡発掘調査体験の様子

2年生論文作成風景

奈良大学「全国高校生歴史フォーラム」優秀賞受賞

1 学校設定科目の授業に関すること

月	日	曜	歴史学入門(1年)			考古学入門・生活文化史(2年)			課題研究(3年)		
			授業名	担当者	実施場所	授業名	担当者	実施場所	授業名	担当者	実施場所
4	13	水				考古学入門	白石・中野	センター			
4	20	水	博物館・センター見学(見学)	センター職員	センター						
4	27	水				考古学入門	白石・中野	センター			
5	18	水				考古学入門	白石・中野	センター			
5	25	水				考古学入門	白石・中野	センター			
6	15	水	壱岐の史跡(巡検)①	白石	島内	考古学入門	中野	島内			
6	22	水	壱岐の史跡(巡検)②	白石	島内	考古学入門	中野	島内			
7	6	水	事前指導	中野・林田	壱岐高	事前指導	中野・林田	壱岐高			
7	13	水				考古学入門	中野・林田	センター			
7	14	木				考古学入門	中野・林田	センター			
7	26	火				考古学入門	中野・林田	センター			
7	28	木				考古学入門	中野・林田	センター			
7	29	金				考古学入門	中野	センター			
8	3	水						センター			
8	10	水									
8	17	水									
8	23	火				論文作成指導	中野	壱岐高			
8	25	木				論文作成指導	中野	壱岐高			
8	26	金				論文作成指導	中野	壱岐高			
8	29	月				論文作成指導	白石・中野	壱岐高			
8	30	火				論文作成指導	白石・中野	壱岐高			
9	1	木				論文作成指導	白石・中野・林田	センター			
9	7	水									
9	14	水									
9	21	水									
9	28	水									
10	5	水							講演会発表練習	白石・中野・林田	壱岐高
10	12	水									
10	13	木				発表資料作成指導	白石・中野・林田	壱岐高			
10	19	水									
10	26	木									
11	2	水									
11	7	月				発表資料作成指導	白石・中野・林田	壱岐高			
11	9	水				発表資料作成指導	白石・中野・林田	壱岐高			
11	16	水									
12	7	水									
12	14	水	原の辻遺跡発掘体験	白石・中野・林田	原の辻	原の辻遺跡発掘体験	白石・中野・林田	原の辻			
12	21	水									
1	18	水									
1	25	木									
2	1	水									
2	8	水									
2	15	水									
2	20	月									
2	22	水	考古学研究3(整理作業)	センター職員	センター						

2 体験入学に関すること

月	日	曜	行事名	担当者	実施場所
8	20	土	第1回コース体験入学	コース担当者	博物館・センター
11	5	土	第2回コース体験入学	※埋蔵文化財センターでの行事はなし	博物館
3	20	月	3年生表敬訪問	コース担当者	博物館・センター

（8）長崎県内の離島地域における高校生を中心とした授業支援

本センターでは、令和４年度より「しまの遺跡の魅力」探求事業を立ち上げ、埋蔵文化財を活用した壱岐・対馬・五島地域の活性化および郷土を愛する人材の育成を目的に活動を行っている。その一環として、これまで継続的に行っている長崎県立壱岐高等学校東アジア歴史・中国語コースの授業支援に加えて、対馬・五島地域における高校生への授業支援を行った。

令和４年度は、対馬高等学校１回、宇久高等学校１回、北松西高等学校１回、上五島高等学校２回で計５回の出前授業を実施した。

No.	日付	高校名	対象	人数	形式	内容
1	5月27日（金）	上五島高等学校	1～3年生（有志）	13名	対面	西ノ設遺跡概要説明・西ノ設遺跡出土黒曜石仕分け作業
2	9月29日（木）	北松西高等学校	1年生	9名	対面	埋蔵文化財について
3	10月7日（金）	上五島高等学校	2年生	80名	対面	西ノ設遺跡歴史講話
4	10月21日（金）	対馬高等学校	1･2年生	46名	対面	埋蔵文化財からみた日韓歴史交流 （講師：釜山博物館学芸研究士鄭徹氏）
5	3月14日（火）	宇久高等学校	2年生	7名	対面	埋蔵文化財について

上五島高等学校

北松西高等学校

対馬高等学校

宇久高等学校

（9）学校教育支援「埋文ＭＡＩＢＵＮ学びのサポート」

本センターは、「埋文ＭＡＩＢＵＮ学びのサポート」という学校教育支援を行っている。これは、センター職員の高い専門性や、石器・土器など実際の遺物、さまざまな機器を活用したセンターでの学習等を通して、考古学への児童生徒の興味・関心を高めるほか、

日付	学校名	内容	人数
4月23日	壱岐高校「東アジア歴史・中国語コース」	博物館とバックヤード見学	12
6月1日	大村高校芷時制	「考古学BOX」の貸出し	―
7月17日	壱岐市立勝本小学校	博物館とバックヤード見学	23
10月13日	壱岐市立郷ノ浦中学校	博物館とバックヤード見学	95
10月14日	壱岐市立石田中学校	博物館とバックヤード見学	51
10月25日	壱岐市立勝本中学校	博物館とバックヤード見学	34
12月13日	壱岐市立箱崎小学校	博物館とバックヤード見学	6
1月31日	壱岐市立志原小学校	博物館とバックヤード見学	10
2月22日	壱岐市立瀬戸小学校	博物館とバックヤード見学	20

幅広い知識や技能の習得をサポートすることを目的として実施している。令和４年度８件で251人の利用と、「考古学BOX」の貸出しが１件あった。

○インターンシップ受け入れ

長崎県では、大学等で構成する長崎インターンシップ推進協議会より依頼を受け、大学生等のインターンシップ受け入れを行っている。令和４年度は、令和４年８月16日（火）から19日（金）までの４日間で実施し、１名（奈良大学）を受け入れて、文化財保護行政及び埋蔵文化財センター業務内容の説明、壱岐島内遺跡巡検、出土品の整理作業・保存処理作業・精密分析作業等を体験させた。

調査現場での測量作業

出土銅製品の錆取り作業

（１０）現地説明会

①早岐瀬戸遺跡

10月30日（日）の午前２回、午後１回の説明を行い70名の見学者が訪れた。道路状遺構や埋桶の調査状況に加え、これまで出土した陶磁器や一分判金や豆板銀、キセル等の金属製品、下駄・櫛等の木製品、動物や魚骨等の有機質遺物まで様々な遺物の展示も行った。

この現地説明会以外にも早岐小学校３年生の授業として調査状況を公開し99名の見学があった。児童たちからは「どうしてこの遺跡を発掘しているのか」「発掘で嬉しいことは何か」等、多くの質問があった。

早岐小学校３年生の皆さん

②西ノ股遺跡

調査の結果、地表下1.8mの岩盤層まですでに削られていることが判明したため現地説明会は実施しなかったが、調査期間中には、上五島高校生徒や卒業生、教員、近隣住民など総計60名もの方々に参加・見学していただくことができた。

上五島高校生徒による発掘調査参加風景

③ヌルヘノクチ遺跡

スケジュールの問題により現地説明会の実施はかなわなかったが、対馬市教育委員会主催の遺跡ツアー（参加者９名）を対象に説明を行い、その模様は現地のケーブルテレビで放送された。また調査成果については読売新聞長崎県版に紹介された。

対馬市教育委員会主催　遺跡ツアー説明風景

④闇縁遺跡

12月17日（土）に闇縁遺跡において現地説明会を開催した。大変寒い日ではあったが25名の方々にご参加いただいた。弥生時代の甕棺（小児棺）や中世の柱穴跡などの遺構や、出土遺物について解説を行ったところ、調査区を覗き込むなど、参加者からは興味深そうな様子が見受けられた。現地説明会の模様は、ＫＴＮテレビ長崎「マルっと！」にて紹介された。

闇縁遺跡現地説明会実施風景

（１１）移動展示会

早岐瀬戸遺跡の発掘調査は令和元年度から６か年計画で進めている。毎年現地説明会を開催しているが、早岐川河川改修工事に対する地元の期待や調査内容・期間の規模を鑑み、他の手法による地元説明の必要性があった。自治連合会での説明会に加え、最寄りで多くの人が集まるイベントでの展示会を実施することとなり、コロナ禍で数年来に開催される２つのイベント会場で展示会を実施することができた。

展示会風景（早岐茶市）

①早岐茶市

例年５月上旬から６月上旬にかけて、遺跡内でもある早岐瀬戸沿いの路上で開かれる伝統行事「早岐茶市」の会場にて、５月27日（金）～５月29日(日)にわたり発掘調査の途中成果展示を行った。茶市会場の休憩所テントを借用し、過年度の調査成果をポスター形式にまとめたパネルと出土遺物の一部を展示し随時解説を行った。休憩中にパネルの解説文を読み込む来客の姿や、展示内容について質問する家族連れがあるなど盛況となった。佐世保市在住であるが遺跡のことは知らなかったという来客も多く、展示会開催の意義があったと言える。

茶市の賑わい（早岐茶市）

②みかわち陶器市

例年 10 月頃に三川内焼伝統産業会館前の特設野外会場にて開催される「みかわち陶器市」だが、令和 4 年度は数年振りの開催であることや盆シーズン以降のコロナ流行もあり、11 月 10 日（木）から 11 月 14 日（月）に開催された。期間終盤の 11 月 13 日（日）、小雨降る会場の一角で展示会を実施した。昼前までの降雨で客足はまばらだったが、午後から天候は回復し多くの来場者が訪れ、最終的に 1 日で 2,000 人が訪れたとのことであった。陶器市への来場者であることもあり、展示した波佐見・有田・三川内産陶磁器をはじめ出土遺物への関心は高かった。

展示テント（みかわち陶器市）

展示遺物（みかわち陶器市）

市の様子（みかわち陶器市）

まとめ

イベント訪問型の移動展示会の開催は、以下の点で発掘調査や埋蔵文化財保護に関する地元説明・普及啓発効果の高いことが改めて分かった。発掘調査現場等で「自発的な参加者」を待つ説明会に比べ、「発掘に興味のない多くの層」へもアピールでき、活動自体の認知や予期しない驚き・喜びを提供できる点、来場者総数がその対象となり得るため展示会閲覧者の潜在数が圧倒的に多い点である。今後は、他のイベントへの出展や展示テントの増床・展示遺物やパネルの追加によって充実化を図りたい。

Ⅳ．令和４年度長崎県教育委員会による埋蔵文化財発掘調査の概要

１．島原城跡（しまばらじょう）【遺跡調査番号：２０２２０１】

所 在 地　長崎県島原市城内２丁目 1130 番地１
調査原因　エレベーター棟増築工事
調査期間　令和４年４月 18 日～令和４年５月２日
報 告 書　刊行なし
調査担当　長崎県埋蔵文化財センター
調査面積　5.7 ㎡
調査区分　範囲確認調査
処　　置　調査後工事

立地と環境

島原城は、元和四（1618）年に松倉重政によって築城されたと伝わっており、島原半島東部の島原市に所在し、眉山北西に形成された扇状地上の緩やかな斜面を利用して築城されている。調査対象地は島原城の三ノ丸にあたり、歴代藩主の屋敷地として利用されていた場所である。現在は県立島原高等学校の敷地となっている。

調査地位置図

調　査

調査は、予定地内に 5m × 3.5m の試掘坑を１か所設定し実施した。

層序は、Ⅰ層（黄褐色土・締め固められた現代の土・近世から現代までの遺物を含む）、Ⅱ層（灰色砂質土・細かい砂粒の土・遺物なし）、Ⅲ層（淡褐色砂質土・5cm 大の礫を含む・遺物なし・地山）であった。

調査区西壁土層断面

遺物は、かく乱土中から近世陶磁器が数点と、Ⅰ層からコビキBが確認できる軒丸瓦の玉縁部１点が出土した。このほか近現代の陶磁器、金属製品、ガラス片が出土した。

遺構は、Ⅰ層との層境で直径 30cm から 40cm の礫が２石並んだ状態で見つかったが、これ以降連続することがなかったため、石垣や石列といった遺構ではないと判断した。

まとめ

今回の調査で遺物包含層や遺構等は確認できなかったため、慎重に工事を進める対応となった。

【調査担当：濵村・前田】（文責：濵村）

２．水中遺跡分布調査【遺跡調査番号：202202】

所 在 地 長崎県佐世保市宇久町外１市２町
調査原因 県内水中遺跡分布調査
調査期間 令和４年度（通年）
報 告 書 令和７年度刊行予定
調査担当 長崎県埋蔵文化財センター
調査面積 －
調査区分 分布調査
処　　置 現状保存

概　要

長崎県埋蔵文化財センターは、県内水中遺跡の所在と内容を把握するため、令和３年度から分布調査を行っている。令和４年度は、五島列島（佐世保市宇久町、五島市、北松浦郡小値賀町、南松浦郡新上五島町）を対象とした。調査は、予備調査、陸上踏査、潜水調査、現地確認の４段階で行い、発見した考古遺物は原則写真撮影及び位置情報取得の上、採集した。調査の結果、合計39か所（遺物総量コンテナ13箱）の遺物散布地等の水中遺跡を確認した。

祝言島相ノ瀬で確認した碇石

陸上踏査

陸上踏査では、五島列島沿岸の潮間帯で旧石器時代から近世までの幅広い時期の考古遺物が採集された。遺物は、縄文時代及び弥生時代のものと思われる玄武岩や安山岩の剥片石器類が多く、石鏃や大形の石鏃、両面加工の刺突具類のような五島列島に特徴的な石器も含まれる。また、宇久島や小値賀島では、古代中世の貿易陶磁器も多くみられた。その他、石干見漁場跡、石切場、波止等の港湾施設跡、漁業関係施設等については、参考地として記録した。

宇久島西岸で採集した剥片石器類

潜水調査

予備調査の結果に基づき、新上五島町中通島西岸にある祝言島沖合で潜水調査を行った。調査の結果、相ノ瀬と呼ばれる海域で碇石を２本確認した。いずれも角柱定形型の碇石で、宋元代の中国船のものと考えられる。また、宇久島西岸で行った潜水調査では、西泊遺跡の周辺海域で青磁口縁部を２点採集した。汀線前後の海域にも摩耗した青磁・白磁底部片が多く分布していることが認められ、西泊遺跡の範囲が海域に広がる可能性を示唆する。

調査結果

今回新たに発見された水中遺跡は、市町教育委員会と協議の上、周知の埋蔵文化財包蔵地として遺跡地図に登載する。また、既に周知されている遺跡についても、分布調査の結果を反映して遺跡の範囲や内容変更をあわせて行う予定である。

【調査担当：宮武・岩佐】（文責：宮武）

3．石屋洞穴（いわやどうけつ）【遺跡調査番号：202203】

所 在 地	長崎県佐世保市江迎町乱橋 615-7 地先	**調査担当**	長崎県埋蔵文化財センター
調査原因	一般国道 497 号松浦佐々道路建設	**調査面積**	28 ㎡
調査期間	令和 4 年 5 月 24 日～令和 4 年 7 月 29 日	**調査区分**	本調査
報 告 書	令和 4 年度刊行済み	**処　　置**	調査後工事

立地と環境

本遺跡は、第三紀系砂岩の急崖基部に南向きに開口するノッチ状の洞穴に形成されている。洞穴の大きさは間口約 5m、奥行き約 7 ～ 8m、高さ約 6 ～ 10m を測る。周辺には平戸八景「高巌」や前田岩陰遺跡、長谷禅門岩陰遺跡、小川内支石墓などがある。

遺物出土状況

調　査

洞穴主軸右半を先行的に掘削した昨年度の調査の継続調査を行った。新たに 3 つの遺構面を確認し（第 2・4 面間及び第 6・7 面）、それぞれの面で計 4 基の炉跡を検出した。炉跡はいずれも地床炉タイプで、洞穴の雨だれライン内側の開口部付近に位置する。また雨だれライン付近では顕著な断層跡が認められ、炉跡はこの断層で分断されている。

炉跡検出状況

洞穴内の土層堆積は右側及び開口部付近が低まる傾斜を呈しており、全体的にシルト質小礫層と砂質シルト層の互層となっている。局所的に礫層や砂層・粘土層が認められる。また、開口部・雨だれライン付近で落ち窪むような堆積層や断層の跡を確認できた。遺物包含層と無遺物層の違いが明瞭で、遺物包含層に炉跡が伴い遺構面をなす。遺構面は第 3 ～ 7 面まで約 10 ～ 15㎝の無遺物層を挟んで形成されている。遺物は主に遺構面で石器剥片が出土し約 60 点を数えた（昨年度調査は 270 点超）。石材はほぼ福井川系安山岩であり上土井行産黒曜石が数点混じる。器種は剥片がほとんどで、製品ではスクレイパーや石匙未製品・二次加工剥片が少数認められる。土器の出土はなかった。昨年度出土の土器や炭化物の年代測定結果から縄文時代早期が主体の洞穴遺跡と考えられる。

まとめ

本遺跡の位置付けとして、洞穴内の有効使用面積の狭さや石器石材の在地偏在性、重量石器の欠落等から、定住遺跡や拠点遺跡ではなく短期間の利用が繰り返されるキャンプサイト的な機能が考えられる。

【調査担当：松元・林田】（文責：松元）

４．大念寺遺跡（隣接地）【遺跡調査番号：202205】

所 在 地	長崎県佐世保市早岐２丁目７・８　他	**調査担当**	長崎県埋蔵文化財センター
調査原因	早岐川河川改修工事	**調査面積**	32 ㎡
調査期間	令和４年６月６日～令和４年６月17日	**調査区分**	試掘調査
報 告 書	刊行なし	**処　　置**	一部早岐瀬戸遺跡へ編入

立地と環境

佐世保市南部の早岐地区に所在し、令和元年度から５か年計画で発掘調査を行っている早岐瀬戸遺跡の北に県道を挟み位置する。また西に隣接して大念寺遺跡がある。

調査地位置図

調　査

今回の調査は、早岐川河川改修工事が行われる早岐瀬戸遺跡よりも上流部分について、早岐瀬戸遺跡の調査で検出した町家の広がりとさらに古い時代の遺構や遺物の有無を確認するために実施した。

T.P.7で検出した胎衣壺

調査坑を８か所設定し北（川上）から順番に番号を振った。掘削は表土掘削と下層確認は重機で行いそれ以外は人力で行った。T.P.1～T.P.6までは表土下に近世以降と思われる水田層が複数枚見られ、その下は風化砂岩の地山であった。水田層からは黒曜石が数点出土したが北東に位置する微高地からの流れ込みと思われる。早岐瀬戸遺跡に近いT.P.7、T.P.8からは整地層に掘られた土坑を検出し胞衣壺も出土した。土坑内から出土した陶磁器や胞衣壺は近世のものであり T.P.7 周辺まで早岐瀬戸遺跡は広がっていると思われる。

まとめ

今回の調査結果から、県道も含めT.P.7を設定した範囲まで早岐瀬戸遺跡の範囲が広がることを佐世保市教委に報告した。なお、今回早岐瀬戸遺跡に編入した部分は河川改修工事が行われる予定のために本調査が必要である。

【調査担当：川畑】（文責：川畑）

5．早岐瀬戸（はいきせと）遺跡【遺跡調査番号：202206】

所 在 地	長崎県佐世保市早岐２丁目 16 他	**調査担当**	長崎県埋蔵文化財センター
調査原因	早岐川河川改修工事	**調査面積**	1,022 ㎡
調査期間	令和４年６月 24 日～令和５年１月 31 日	**調査区分**	本調査
報 告 書	刊行予定（時期未定）	**処　　置**	調査後工事（一部調査継続）

立地と環境

佐世保市南部の早岐地区に所在し、早岐瀬戸に面した沖積地に立地する。調査地点は早岐瀬戸が最も幅を狭める付近に位置し、周辺は宅地となっている。遺跡周辺は 17 世紀中頃に平戸藩による早岐瀬戸の埋め立てによって新しく造成された土地で、遺跡の中には平戸往還が通り港町・宿場町として栄えた。

調査地位置図

調　査

江戸時代の町屋に伴うピット・土坑・カマド跡・溝・井戸・埋甕・埋桶などを確認した。町屋に伴う遺構は切り合いが見られピットも多数検出したことから生活面が複数面あったと思われる。埋桶をこれまでの調査で最多の 24 基確認した。溝や土地の区割りが現在のそれと重なる箇所が多く見られたが、これらとは異なり主軸がおよそ 5° 西へ傾く道路跡を検出した。道路跡は幅 3m、確認長 45m で、両側に側溝を持つ。また、路面は２面確認できいずれも玉砂利を敷き硬化しており、路面から出土した遺物は 17 世紀末から 18 世紀初頭のものであった。

道路跡検出状況

遺物では、近世の整地層から碗・皿を中心に波佐見・有田・三川内産の陶磁器が多く出土した。湧水が見られた整地層の下位からは桶や櫛・下駄・椀などの木製品も出土した。近世の整地層の下に堆積する砂層から縄文時代後期～弥生時代の土器や磨製石斧・石鏃などの石器が出土した。土器や石器は摩滅しているものが多く、周辺の遺跡からの流れ込みと思われる。

まとめ

中世以前の遺物は昨年まで近世層での出土が主であったが、今回、一定範囲に広がる縄文時代後期から弥生時代の包含層を確認できた。近場では大念寺遺跡、離れると旧早岐川流域からの流れ込みと考えられる。今後は、中世以前における河口域での活動を示すような遺物包含層や遺構の有無確認が課題となる。

【調査担当：川畑】（文責：松元）

6．寺中（じちゅう）A遺跡【遺跡調査番号：２０２２１０】

所 在 地 長崎県島原市寺中町 2252-3
調査担当 長崎県埋蔵文化財センター
調査原因 島原道路（出平有明バイパス）建設
調査面積 1,141 ㎡
調査期間 令和４年８月 18 日～令和４年 10 月 14 日
調査区分 本調査
報 告 書 令和５年度刊行予定
処　　置 調査後工事

立地と環境

寺中A遺跡は、島原半島東部に位置し、雲仙火山の火山麓扇状地下端に位置する。遺跡範囲は雲仙岳から放射線状に伸びる舌状台地の一部にあたり、舌状台地間にあった大小の谷筋が山側から海側を結ぶ。調査地点は標高 85m ほどで、周辺の遺跡は、令和３年度に本調査が行われた大高野遺跡が南側に、原口B遺跡が北側にある。

調査地位置図

調　査

調査は、5m × 5m のグリッドを設定し、サブトレンチは調査区に沿って東西・南北２か所設定した。

基本層序は、Ⅰ層（耕作土）、Ⅱ層（黒色土）、Ⅲ層（褐色土）、Ⅳ層（黒褐色土）、Ⅴ層（黄灰色硬質ブロック）、Ⅵ層（黒褐色～灰オリーブ色土）、Ⅶ層（黒色土）、Ⅷ層（黄色土）であった。Ⅱ層、Ⅲ層はａ～ｃに細分し、Ⅱ層、Ⅲｃ層、Ⅳ層に関しては人力掘削を行った。遺構はⅡｂ層で炭化物が密集する遺構を１基、Ⅲａ層上面でピットを７基、土坑を４基確認し、うち青磁蓮弁文碗Ｃ群出土した土坑１基は 15 世紀後半～ 16 世紀前半のものと考えられる。Ⅳ層上面からはピットを 23 基、土坑を５基、うちおとし穴状遺構となり得るものを１基確認した。この土坑内からは縄文時代早期土器片が２点出土した。遺物はⅡｃ層最下部及びⅢａ層上面で縄文後晩期の遺物が出土し、Ⅲｃ層最下部～Ⅳ層上面から縄文時代早期の遺物が出土した。

おとし穴状遺構（東から）

まとめ

今回の調査地では、縄文時代のおとし穴状遺構となり得る土坑を確認した。調査地周辺では、西側に位置する長貫A遺跡や北西側に位置する下油堀遺跡でおとし穴状遺構の報告事例がある。このことから、今回の調査地が縄文時代においては狩猟地の一角であった可能性がある。

【調査担当：新井】（文責：新井）

7．下雨粒木遺跡（しもあまつぶき）・楠沢上遺跡（くすざわかみ）【遺跡調査番号：202207・202208】

所 在 地 長崎県島原市有明町大三東丁 1926-1　他
長崎県島原市有明町大三東丁 2032-1　他

調査担当 長崎県埋蔵文化財センター

調査原因 島原道路（出平有明バイパス）建設工事

調査面積 下雨粒木遺跡：1,149 ㎡
楠沢上遺跡：864 ㎡

調査期間 下雨粒木遺跡：令和 4 年 7 月 7 日～令和 5 年 1 月 27 日
楠沢上遺跡：令和 4 年 7 月 22 日～令和 4 年 10 月 28 日

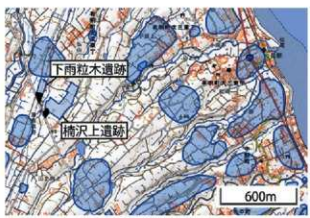
調査区分 本調査

報 告 書 令和 5 年度刊行予定

処　　置 調査後工事

立地と環境

下雨粒木遺跡と楠沢上遺跡は、島原半島北東部の島原市有明町大三東に所在する。雲仙火山から有明海に広がる火山性扇状地の標高約 80m 地点に立地しており、遺跡周辺は緩斜面地帯を生かした段々畑として利用される。遺跡周辺の眺望はよく開けており、南西には普賢岳・眉山を望み、北から東にかけては有明海を挟んで対岸の熊本県菊池平野周辺を望む。



調査地位置図

両遺跡は小河川を挟んで近接し、北側が下雨粒木遺跡、南側が楠沢上遺跡となる。両遺跡の土層堆積状況や各層位からの遺物出土状況は類似した点が多く、包蔵地の枠を除けばほぼ同一の遺跡と捉えられる。

調　査

調査では、得られた土層をⅠ～Ⅸ層に分層した。両遺跡ともに層序は共通している。各層から出土した遺物は、Ⅲ層（黄褐色土）から縄文時代早期の押型文土器や黒曜石製石鏃等が、Ⅵ層（硬質暗褐色土）とⅦ層（黒褐色土）からは旧石器時代の石器がある。またⅧ層からは指頭大程の黒曜石原石が一定数出土する。

調査地周辺から普賢岳・眉山を望む

旧石器時代のものとして、下雨粒木遺跡・楠沢上遺跡ともに石器集中地点（以下ユニット）が検出されている。これらは下雨粒木遺跡に 2 か所、楠沢上遺跡に 1 か所ある。いずれも青灰色黒曜石製のチップやフレークを主体として構成されており、点数の多いもので 1 基 300 点程度を数える。包含層出土遺物の器種は、チップ、フレーク、石刃、台形石器、角錐状石器、ナイフ型石器、ハンマーストーンを確認している。石材は、剥片石器については漆黒色黒曜石、青灰色黒曜石、安山

岩があり、礫石器のハンマーストーンについては堆積岩系を用いる。

縄文時代早期のものは、下雨粒木遺跡から遺構・遺物を確認した。遺構は、複数のピット及び土坑を検出している。土坑の下部には小ピットを有するものが複数あり、おとし穴状遺構と想定している。今回確認したおとし穴状遺構は、Ⅳ層上面から５基、Ⅴ層上面から１基の計６基を数える。遺構断面で確認した土層堆積状況は、６基とも緩やかなU字状となっており、自然堆積的な状況が見られた。また、一部のおとし穴状遺構の覆土上位から平栫・塞ノ神式土器系の小片が出土しており、最終的な埋没時期については縄文時代早期後葉以降と考えられる。包含層出土遺物は、土器については弘法原式期の円筒形押型文土器や、僅少ではあるが平栫・塞ノ神式土器系が出土する。石器は黒曜石製剥片、黒曜石製石鏃が出土し、石鏃の形は鍬形鏃が主体となる。

ナイフ形石器（下雨粒木遺跡）

おとし穴状遺構（下雨粒木遺跡）

また、出土量は少ないが楠沢上遺跡のⅡ層や、下雨粒木遺跡の倒木痕内から縄文時代後・晩期の土器が出土している。下雨粒木遺跡では蝶ネクタイ状の突起を持った深鉢片が出土しており、黒川式並行期のものと考えられる。

まとめ

今回の下雨粒木遺跡・楠沢上遺跡の調査では、旧石器時代のユニットと石器製作に伴う石器を確認した。また、縄文時代早期以降に埋没したおとし穴状遺構や、縄文時代早期土器、縄文時代後・晩期土器等を確認した。遺跡周辺は、旧石器時代には石器製作の場として利用され、時代が下るとおとし穴を用いた狩猟の場として利用されていたと考えられる。河川が眼前にあることも土地利用の要因の一つであろう。

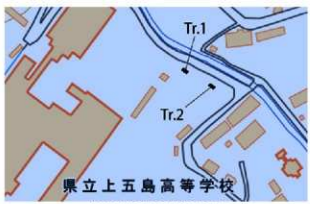
【調査担当：小川】（文責：小川）

8．西ノ股（にしのまた）遺跡【遺跡調査番号：202212】

所 在 地　長崎県南松浦郡新上五島町浦桑郷 306
調査原因　しまの遺跡の魅力探求事業
調査期間　令和 4 年 8 月 3 日～ 8 月 19 日
報 告 書　令和 6 年度刊行予定
調査担当　長崎県埋蔵文化財センター
調査面積　16 ㎡
調査区分　範囲確認調査
処　　置　調査後埋め戻し

立地と環境

西ノ股遺跡は五島列島の中通島に所在する。島の北東側の海を有川湾というが、その最奥部には平坦地が広がる。西ノ股遺跡はこの平坦地を中心として広がっていたものと考えられる。中通島の中では珍しく広い平坦地であり、南東向きの緩斜面は人々の生活に適した地理的条件を備えているように思われる。昭和 60 年には、浦桑地区の海岸部の埋め立て工事に先立ち、範囲確認調査が実施されたが、この時には多くの縄文土器や石器に加え、旧石器時代の遺物や少量の弥生土器も検出されている。



調査地位置図（縮尺任意）

調　査

今回の発掘調査は「しまの遺跡の魅力探求事業」と連動して、上五島地域でこれまで確認されていない縄文時代および弥生時代の集落の発見を目的とした。調査地は、調査後の学校の活動になるべく影響が出ないように、ハンドボールコートの中でも現在ではまったく使用していない箇所（ゴールポストの裏）を調査地として選定した。伝え聞くところによると、この場所は、もともとは田んぼであったが、グラウンドを造成する際に田んぼの上に盛土をして、その上に現地表のグラウンドが築かれているということであった。このため自然堆積層が良好に残存していることが期待された。調査は表土掘削から埋め戻しまで、すべて人力で行った。盛土の深度が不明であったため、まずは 4m × 2m のトレンチを 2 か所設定し、堆積状況の確認を目指した。その結果、地表下 1.8 ～ 1.9m まで円礫・角礫を多く含む厚い盛土の堆積が見られ、その直下には岩盤層が確認された。

第 1 トレンチ掘削終了状況（南西から）

まとめ

自然堆積層は昭和 56 年のグラウンド造成の際にすでに消失されていることが明らかとなったが、調査期間中には上五島高校の生徒や近隣住民が参加し、埋蔵文化財についての周知について一定の成果が得られた。

【調査担当：白石・林田】（文責：白石）

９．ヌルヘノクチ遺跡【遺跡調査番号：202214】

所 在 地 長崎県対馬市峰町三根ヌルヘノ口
調査原因 しまの遺跡の魅力探求事業
調査期間 令和４年10月17日～11月４日
報 告 書 令和６年度刊行予定
調査担当 長崎県埋蔵文化財センター
調査面積 66㎡
調査区分 試掘調査
処　　置 調査後埋め戻し

立地と環境

ヌルヘノクチ遺跡は、三根湾に注ぐ三根川の左岸にある。河口から直線距離で約２㎞上流に位置し、佐賀ノ内川との合流地点からほど近い緩やかな台地上に所在する。標高は20m前後である。今回の試掘調査は「しまの遺跡の魅力探求事業」の一部として、三根川流域の弥生時代集落の発見を目的とした。

調査地位置図

調　査

調査地は西から東に向かって緩やかに下る緩傾斜地で、現在は休耕地となっている。４筆に分かれるが、今年度は３筆の試掘調査について承諾を受け、試掘調査を実施した。試掘坑は13か所を設定し（Tr.１～Tr.13）、調査を行った。

小土坑検出状況（南から）

調査の結果、調査地の大部分が削平されていることが判明したが、３か所の試掘坑（Tr.４、Tr.10、Tr.13）において、遺物包含層が確認された。特にTr.４において、３つの遺物包含層（４層、５層、６層）が確認され、６層上面において古墳時代前期中頃の甕を含むピット（小土坑）が確認された。また調査地東側の山の落ち際に設定したTr.10では、円礫などが多く混じる粘質土の中に三韓系土器が含まれ遺物包含層と判断された。またこの広がりはTr.13においても確認された。耕作土や盛土中からも楽浪系土器や三韓土器が出土した。

まとめ

今回の試掘調査を受けて調査地をヌルヘノクチ遺跡として周知した。狭小な調査区においてさえ三韓系土器や楽浪系土器が見つかることが注目される。またこの付近で古墳時代前期の集落が確認されるのは初めてで、魏志倭人伝に記載される「對馬国」の終焉の状況を知る手掛かりを得ることができた。

【調査担当：白石・中野】（文責：白石）

10．闇繰（みやくり）遺跡【遺跡調査番号：202216】

所 在 地　［闇繰地区隣接地］壱岐市芦辺町深江鶴亀触
調査原因　しまの遺跡の魅力探求事業
調査期間　令和4年11月24日～12月23日
報 告 書　令和6年度刊行予定
調査担当　長崎県埋蔵文化財センター
調査面積　200㎡
調査区分　範囲確認調査
処　　置　調査後埋め戻し

立地と環境

闇繰遺跡は、原の辻丘陵の北側、安国寺が所在する高台の南側の緩傾斜地に位置する。二つの高台に挟まれた谷頭から南東にやや下った丘陵沿いでは、昭和29年には東亜考古学会、平成7年と平成10年には原の辻遺跡調査事務所により、弥生時代中期を中心とした甕棺墓と石棺墓の列状配置が2地点で確認されている。令和4年度の調査地は、令和3年度に引き続き、列墓が確認された地点から北に標高差10mほどの傾斜を急激に上がる丘陵部上の緩傾斜地である。

調査地位置図（縮尺任意）

調　査

本調査地はもともと饅頭畑であったが、1960年代頃に重機による開削が行われ、現状では住宅と上下2段の耕作地となっている。今年度は令和3年度のトレンチ調査により得られた所見をもとに、遺跡の様相の十分な解明を目指し、1区（下の段）と2区（上の段）のそれぞれ遺跡の残存状態が比較的良いと判断される箇所に、100㎡（10m×10m）の調査区を設定し、重機掘削のち人力掘削による発掘調査を行った。1区においては、想定よりもはるかに良好に遺物包含層（1層：中世、2層：古墳時代、3層：弥生時代中期後半）が残存していることが明らかになった。また昨年度の調査において一部確認されていた弥生時代中期後半の遺物の集中箇所が面的に広がること、またこれが3層堆積中の遺物集中箇所であり遺構ではないことを確認した。2区では、1層から3層の残存状態は良好でないものの、弥生時代中期後半の甕棺墓（小児棺）2基と、甕棺墓の可能性がある遺構1基が確認され、闇繰列墓にやや遅れる時期に、丘陵部に墓が作られている様子が明らかにされた。

合口甕棺（小児棺）出土状況（南から）

まとめ

弥生時代の墓域の広がりをあらたに確認すると同時に、平安時代末頃から鎌倉時代頃の遺物を多く含む中世の遺物包含層が確認され、土師器片を多量に含む遺構や柱穴などが検出された。他方、特に1区（下の段）については、遺構の広がりを面的に把握することが未解決の課題として残された。

【調査担当：白石・中野・林田】（文責：白石）

１１．上原（うえはら）遺跡（隣接地）【遺跡調査番号：２０２２１９】

所 在 地 南松浦郡新上五島町有川郷 181 番 1 及び 1132 番 1
調査担当 長崎県埋蔵文化財センター
調査原因 主要地方道上五島空港線交通安全施設等整備工事　**調査面積** 39 ㎡
調査期間 令和５年２月 13 日～令和５年２月 24 日　**調査区分** 試掘調査
報 告 書 刊行予定なし　**処　　置** 継続調査

立地と環境

調査地は中通島中央東部に位置する有川郷の郊外に位置する。有川郷は南東側を山に囲まれた２つの河川が合流する平坦部に形成された市街地で、調査地周辺は、浜海岸から南に向けて平坦地形が広がり、南東は緩やかに立ち上がる丘陵微高地となっている。調査地の東側の台地には縄文・弥生時代の上原遺跡、その裾にあたる旧海岸線付近には弥生時代前期・中期の墓域とされる浜郷遺跡がある。

調査地位置図（縮尺任意）

調　査

調査区は、拡幅工事が予定されている道路部の線形に沿って２か所設定した。TP1 は海岸線から延びる平坦地形に 3m × 10m、TP2 は丘陵上の宅地跡に設定した 3m × 3m の大きさである。調査は、重機によって表土掘削を行った後に、人力によって掘り下げを行った。記録作業は写真撮影・図面作成を行い、出土遺物はすべて取り上げた。

TP1 完掘状況　北方向から

TP1 について、耕作土直下は旧海岸地形に由来する砂層堆積であり、GL-1.0m まで近世や近現代遺物が混じる褐色細砂（２層）、にぶい黄褐色細砂（３層）が続く。その下は無遺物のにぶい黄橙色細砂（４層）が 1.5m 以上の厚さで堆積しており、地山相当の自然堆積層と判断する。３層中からは、近世・近現代遺物に混じり、扁平な両刃の磨製石斧が１点、敲石１点、砥石２点が出土している。TP2 は、宅地造成の際に大きくかく乱されており、近現代の陶磁器が少数出土しているが、これをさかのぼる時期の遺構遺物は認められなかった。

まとめ

TP1 から縄文時代または弥生時代の石器が出土しており、引き続き事業計画地内の試掘調査を行う必要がある。

【調査担当：宮武・林田】（文責：宮武）

１２．杉山古墳（隣接地）【２０２２０４】・楠沢上遺跡（隣接地）【２０２２０９】・上岡遺跡【２０２２１１】・大円寺遺跡（仮）【２０２２１３】・北ノ園遺跡【２０２２１５】・苗河内遺跡（仮）【２０２２１７】・坊屋敷石棺（隣接地）【２０２２１８】・岡城（夏峰城）跡【２０２２２０】・灰ノ久保遺跡【２０２２２１】

所 在 地　杉山古墳（隣接地）：長崎県雲仙市瑞穂町古部乙 1514-1 他・吾妻町本村名 912 他、楠沢上遺跡（隣接地）：長崎県島原市有明町大三東丁 2022-1、上岡遺跡：長崎県雲仙市瑞穂町古部甲 2110 他、大円寺遺跡（仮）：雲仙市吾妻町布江名 143 他、北ノ園遺跡：長崎県雲仙市吾妻町木場名 739-1 他、苗河内遺跡（仮）：長崎県雲仙市瑞穂町古部乙 365-2 他、坊屋敷石棺（隣接地）：長崎県雲仙市吾妻町木場名 360 他、岡城（夏峰城）跡：長崎県雲仙市瑞穂町古部乙 1770-1、灰ノ久保遺跡：長崎県島原市有明町大三東甲 1001-1

調査担当　長崎県埋蔵文化財センター

調査原因　島原道路（出平有明バイパス、瑞穂吾妻バイパス）建設工事

調査面積　杉山古墳（隣接地）：66.5 ㎡、楠沢上遺跡（隣接地）：14.5 ㎡、上岡遺跡：40 ㎡、大円寺遺跡（仮）：30 ㎡、北ノ園遺跡：67 ㎡、苗河内遺跡（仮）：45 ㎡、坊屋敷石棺（隣接地）：27 ㎡、岡城（夏峰城）跡：12 ㎡、灰ノ久保遺跡：4 ㎡

調査期間

杉山古墳（隣接地）：令和４年６月１日～６月 21 日、楠沢上遺跡（隣接地）：令和４年７月４日～７月８日、上岡遺跡：令和４年７月 11 日～７月 29 日、大円寺遺跡（仮）：令和４年 10 月 17 日～ 10 月 28 日、北ノ園遺跡：令和４年 11 月 14 日～ 12 月２日、苗河内遺跡（仮）：令和４年 12 月６日～ 12 月 23 日、坊屋敷石棺（隣接地）：令和５年１月 24 日～２月 22 日、岡城（夏峰城）跡：令和５年２月 16 日～２月 24 日、灰ノ久保遺跡：令和５年３月６日～３月 10 日

調査区分　範囲確認調査・試掘調査

報 告 書　刊行予定なし

処　　置　一部本調査（上岡遺跡、北ノ園遺跡）

令和４年度島原道路（出平有明バイパス区間）試掘・範囲確認調査範囲

令和４年度島原道路（瑞穂吾妻バイパス区間）試掘・範囲確認調査範囲

立地と環境

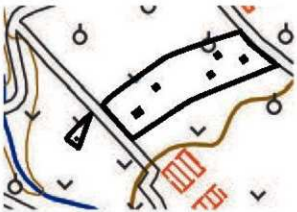
調査地は、諫早市と南島原市を結ぶ高規格道路通称「島原道路」の中の出平有明瑞バイパスと穂吾妻バイパス建設予定地にあたり、島原半島東部から北西部、雲仙火山から伸びる緩や

かに傾斜する火山麓扇状地に位置する。標高は20m ～ 100m程度で、現状は畑地や田が多く、一部は宅地である。

調　査

対象地内に長さ2m ～ 10m ×幅1.2mから4mの規模の試掘坑を適宜設定し調査を行った。

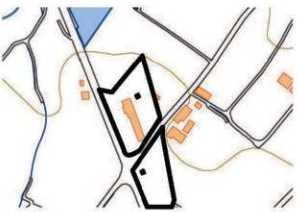
杉山古墳（隣接地）では、6か所の試掘坑で調査を行った。対象地の吾妻町側は既に基盤整備が行われた場所で大きく削平を受けていた。土層は各試掘坑で確認された堆積が異なるが、基本層序としてⅠａ層（耕作土）、Ⅰｂ層（耕盤層）、Ⅱ層（明褐色土、炭化物を含む／旧耕作土）、Ⅲ層～Ⅴ層（褐色土、自然堆積の火山灰土）、Ⅵ層（明褐色粘質土）、Ⅶ層（明褐色粘質土、風化礫やデイサイトを含む、地山）と整理できる。遺物は表土で土器片・須恵器片・近世から近現代の陶磁器類・黒曜石剥片・安山岩剥片などが出土したのみで遺構は確認できなかった。



杉山古墳（隣接地）調査地位置図

杉山古墳（隣接地）TP2 北壁土層断面

楠沢上遺跡（隣接地）では、2か所の試掘坑で調査を行った。土層は試掘坑で確認された堆積が異なるが、基本層序としてⅠ層（耕作土・旧耕作土）、Ⅱ層（褐色硬質土）、Ⅲ層（黒褐色土）、Ⅳ層（明黄褐色土）、Ⅴ層（黒褐色粘質土）、Ⅵ層（灰色硬質土）、Ⅶ層（黄橙色シルト土）と整理できる。遺物はⅠ層で土器片・貿易陶磁器片・近世陶磁器類・石鏃・黒曜石片が出土したのみで遺構は確認できなかった。

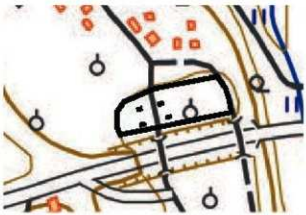


楠沢上遺跡（隣接地）調査地位置図

楠沢上遺跡（隣接地）TP1 状況

上岡遺跡では、4か所の試掘坑で調査を行った。土層はⅠ層（耕作土）、Ⅱ層（旧床土）、Ⅲ層（黄褐色粘質土）Ⅳ層（灰褐色粘質土、中世の遺物包含層）、Ⅴ層（黄褐色粘質土、無遺物層、地山）、Ⅵ層（明褐色粘質土、風化礫を含む、基盤層）であった。遺物はⅠ層～Ⅲ層から縄文土器片・土師器片・貿易陶磁器片・近世陶磁器片・安山岩剥片が出土し、Ⅳ層から縄文早期土器・貿易陶磁器・土師器皿・

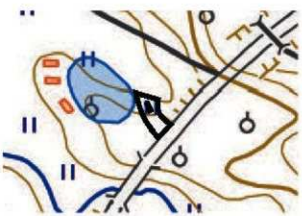
灯明皿・石鏃・黒曜石剥片が出土した。遺構は確認できなかった。



上岡遺跡調査地位置図

上岡遺跡 TP3 東壁土層断面

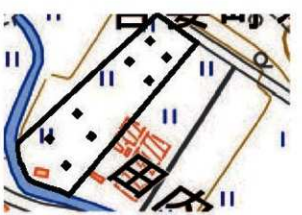
大円寺遺跡（仮）では、1か所の試掘坑で調査を行った。土層はⅠ層（表土）、Ⅱ層（基盤層）であった。遺物は表土から近世から近現代の陶磁器が出土したのみで遺構は確認できなかった。



大円寺遺跡（仮）調査地位置図

大円寺遺跡（仮）調査風景

北ノ園遺跡では、8か所の試掘坑で調査を行った。対象地は既に基盤整備が行われた場所でほとんどの試掘坑では地山面までかく乱を受けていたが、一部の試掘坑で遺物包含層と遺構が確認された。土層は、遺物包含層と遺構が残存していた試掘坑ではⅠ層（耕作土）、Ⅱ層（灰褐色土）、Ⅲ層（褐灰色土、マンガン粒の沈着が見られる）、Ⅳ層（褐灰色粘質土、鉄分の沈着が見られる）、Ⅴ層（黄灰粘質土、近世までの遺物を包含する）、Ⅵ層（灰色粘質土、中世までの遺物を包含する）、Ⅶ層（灰褐色土、

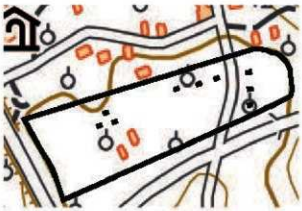


北ノ園遺跡調査地位置図

北ノ園遺跡 TP2 木杭検出状況

古代の遺物を包含する）、Ⅷ層（灰色土、古代の遺物や木材を包含する）、Ⅸ層（褐灰土、縄文時代の遺物を包含する）、Ⅹ層（灰黄褐色砂質土）、ⅩⅠ層（灰黄褐砂、湧水） であった。遺物はⅥ層で貿易陶磁器（青磁）片や土師器片、Ⅶ層で須恵器片・土師器片・貿易陶磁器（白磁） 片、Ⅷ層で須恵器片・土師器片、Ⅸ層で縄文土器片・黒曜石片が出土したほかにⅥ層からⅧ層で木片が出土した。遺構はⅥ層で木杭を検出し、これら木杭が杭列になる可能性がある。

北ノ園遺跡 TP7 西壁状況



苗河内遺跡（仮）調査地位置図

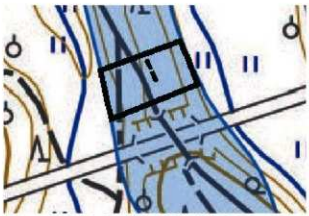
苗河内遺跡（仮）TP2 状況

苗河内遺跡（仮）では、9か所の試掘坑で調査を行った。土層はⅠ層（耕作土）、Ⅱ層（基盤層）であった。遺物は表土から近世から近現代の陶磁器、不明土器片、黒曜石が出土したのみで遺構は確認できなかった。

坊屋敷石棺（隣接地）調査地位置図

坊屋敷石棺（隣接地）調査風景

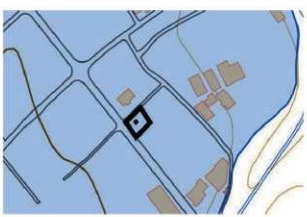
坊屋敷石棺（隣接地）では、3か所の試掘坑で調査を行った。対象地は既に基盤整備が行われた場所で大きく削平を受けていた。土層はⅠ層（耕作土）、Ⅱ層（基盤層）であった。遺物や遺構は確認できなかった。



岡城（夏峰城）跡調査地位置図

岡城（夏峰城）跡 TP1 状況

岡城（夏峰城）跡では、2 か所の試掘坑で調査を行った。土層はⅠ層（腐葉土）、Ⅱ層（現代の盛土）、Ⅲ層（明黄褐色）、Ⅳ層（基盤層）であった。遺物や遺構は確認できなかった。



灰ノ久保遺跡調査地位置図

灰ノ久保遺跡東壁状況

灰ノ久保遺跡では、1 か所の試掘坑で調査を行った。土層はⅠ層（耕作土）、Ⅱ層（黒褐色土）、Ⅲ層（黒褐色土）、Ⅳａ層（暗褐色土）、Ⅳｂ層（黒褐色）、Ⅳｃ層（暗褐色土）、Ⅴ層（黒色土）、Ⅵ層（黄褐色土）であった。遺物はⅠ層から土器小片・黒曜石剥片が出土し遺構は確認できなかった。

まとめ

今回の調査で遺構や遺物包含層が確認されなかった調査地については慎重に工事を進めることとなった。遺構や遺物包含層が確認された上岡遺跡と北ノ園遺跡については、地下に残る埋蔵文化財の取り扱いについて文化財保護部局と事業者との間で協議を行うこととなった。なお、今回試掘・範囲確認調査ができなかった範囲については、令和 5 年度以降も引き続き調査する必要がある。

【調査担当：濵村、前田、新井、小川】（文責：濵村）

報告書抄録

ふりがな	ながさきけんまいぞうぶんかざいちょうさねんぽうさんじゅういち
書　名	長崎県埋蔵文化財調査年報31
副書名	令和4年度調査分
巻 次	31
シリーズ名	長崎県埋蔵文化財センター調査報告書
シリーズ番号	第48集
編集機関	長崎県埋蔵文化財センター
所在地	〒811-5322　長崎県壱岐市芦辺町深江鶴亀触515-1　TEL0920（45）4080
発行年月日	2023年11月30日

所収遺跡名	所在地	遺跡コード		調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町	遺跡番号			
島原城跡	島原市	42203	045	20220418 ～20220502	5.7	その他開発
水中遺跡分布調査	五島市 新上五島町 小値賀町 佐世保市	42211 42411 42383 42202	－		－	－
石屋洞穴	佐世保市	42202	510	20220524～20220729	28.0	道路
杉山古墳（隣接地）	雲仙市	42213	－	20220601～20220621	66.5	道路
大念寺遺跡（隣接地）	佐世保市	42202	－	20220606～20220617	32.0	河川
早岐瀬戸遺跡	佐世保市	42202	493	20220624～20230131	1022.0	河川
下雨粒木遺跡	島原市	42203	100	20220707～20230127	1149.0	道路
楠沢上遺跡			99	20220722～20221028	864.0	道路
楠沢上遺跡（隣接地）			－	20220704～20220708	14.5	道路
寺中A遺跡			379	20220818～20221014	1141.0	道路
上岡遺跡			－	20220711～20220729	40.0	道路
西ノ股遺跡	新上五島町	42411	046	20220803～20220819	16.0	保存目的の範囲確認調査
大円寺遺跡（仮）	雲仙市	42213	－	20221017～20221028	30.0	道路
ヌルヘノクチ遺跡	対馬市	42209	－	20221017～20221104	66.0	保存目的の範囲確認調査
北ノ園遺跡	雲仙市	42213	－	20221114～20221202	67.0	道路
闇繰遺跡	壱岐市	42210	392	20221124～20221223	200.0	保存目的の範囲確認調査
苗河内遺跡(仮)	雲仙市	42213	－	20221206～20221223	45.0	道路
坊屋敷石棺（隣接地）			－	20230124～20230202	27.0	道路
上原遺跡(隣接地)	新上五島町	42411	060	20230213～20230224	39.0	道路
岡城（夏峰城）跡	雲仙市	42213	073	20230216～20230224	12.0	道路
灰ノ久保遺跡	島原市	42203	085	20230306～20230310	4.0	道路

長崎県埋蔵文化財センター調査報告書　第 48 集

長崎県埋蔵文化財調査年報 31
［令和 4 年度調査分］

2023 年 11 月 30 日

発 行　長崎県教育委員会
長崎市尾上町 3 番 1 号

印 刷　株式会社　昭和堂
諫早市長野町 1007-2